

佐賀市のみどりに関する市民意識調査

報 告 書

令和3年2月

佐賀市緑化推進課

§ 1 調査の概要

1.調査目的

佐賀市では、市民共有の財産であるみどりを未来へ引き継いでいくために、平成20年に「佐賀しみどりあふれるまちづくり条例」を施行し、市民・事業者・行政が一体となってみどりのまちづくりに取り組んでいる。

この調査は、市民が「佐賀市のみどりの現状をどのように感じているのか」「これからのみどりに関するまちづくりについてどのような意見を持っているのか」などについて聞き、今後のみどりに関する市政運営に市民の声を反映させることを目的として、定期的実施している。

2.調査対象

市内に居住する18歳以上の男女

3.抽出方法

旧市町村ごとに住民基本台帳から年齢階層別に無作為抽出

4.調査方法

郵送による配布、郵送による回収

5.配布数・回収数

配布数	有効回答数	回収率
4,000人	1,462人	36.6%

6.調査期間

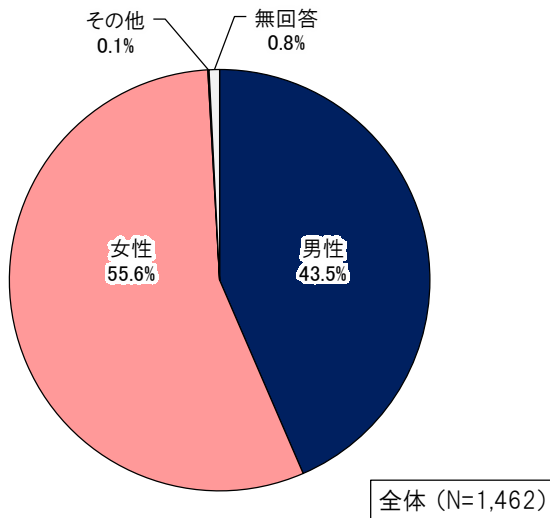
令和2年11月13日（金）～令和2年11月30日（月）

【調査結果利用上の注意】

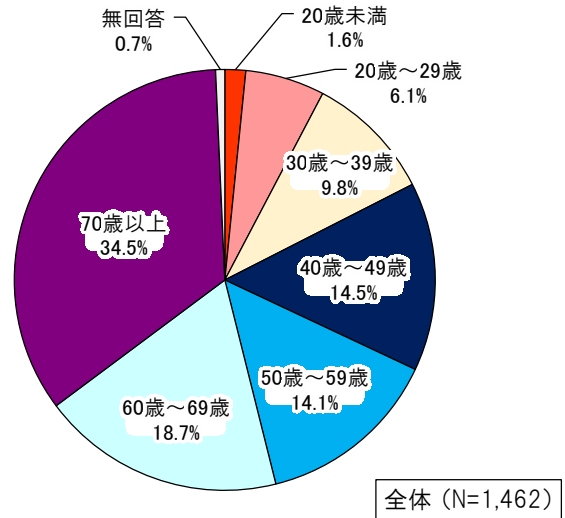
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すN・nは、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合がある。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」としている。
- (6) 2つ以上の選択肢を合計して表している比率については、各選択肢の基数（標本数）の合計をもとに算出しているため、選択肢個々の回答比率の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。

§ 2 回答者の属性

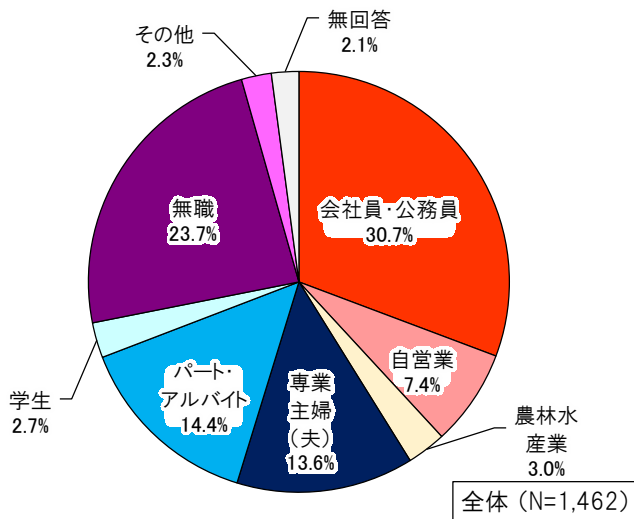
1. 性別



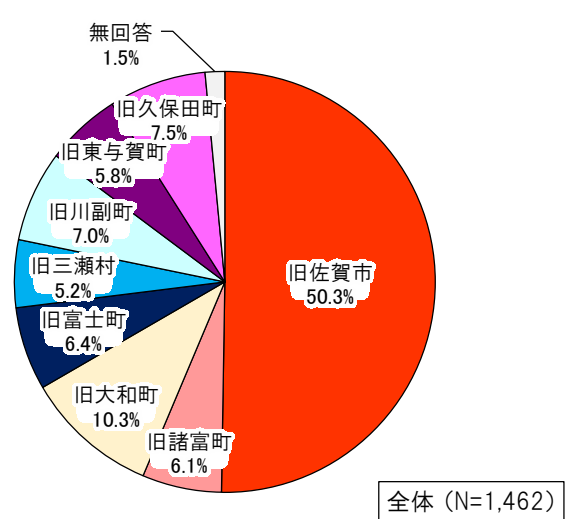
2. 年齢



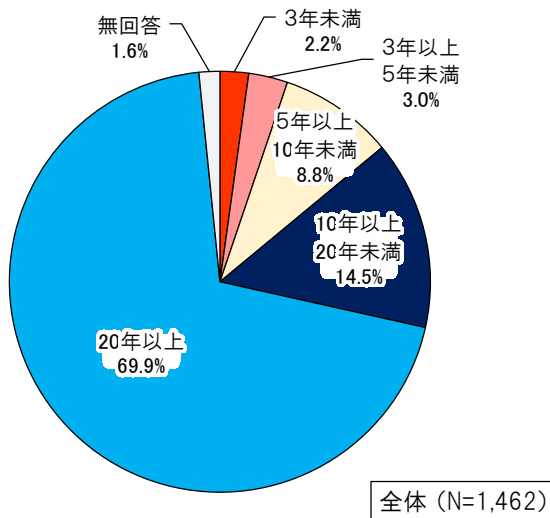
3. 職業



4. お住まいの地域



5. 居住年数



§ 3 調査結果

I “みどり”の現状について

1. 居住地域の“みどり”の評価

問1 あなたがお住まいになっている地域においてあなたは、樹木や花などの“みどり”の豊かさやふれあいに満足していますか。【〇は1つ】

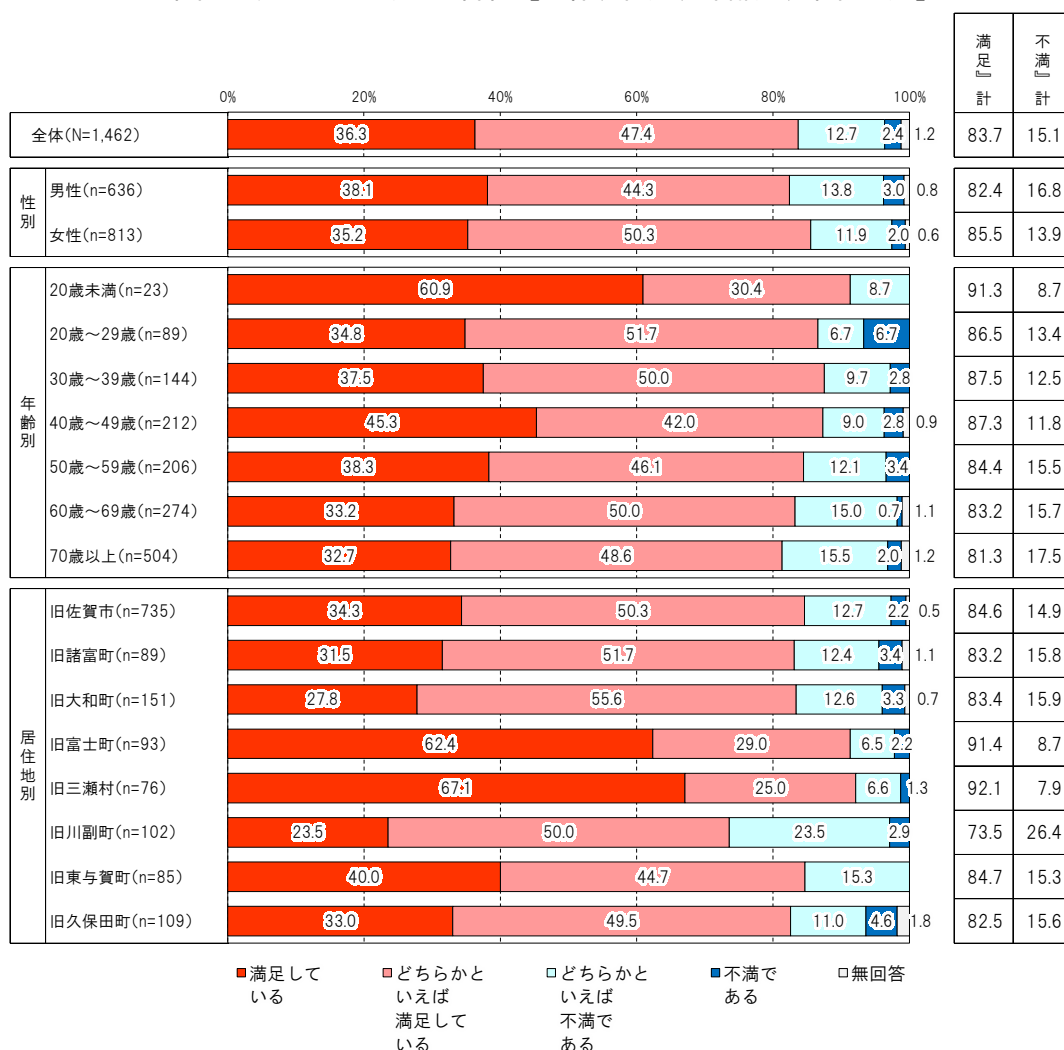
居住地域の“みどり”の評価についてみると、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）の割合が83.7%と8割を超え高くなっている。

性別にみると、『満足』の割合は、男性（82.4%）より女性（85.5%）の方が3.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足』の割合は、いずれの年齢も8割を超えており、回答数が少ない20歳未満を除くと30歳～39歳では87.5%と最も高くなっている。

居住地別にみると、『満足』の割合は、旧川副町を除くいずれの居住地も8割を超えており、旧三瀬村では92.1%と最も高くなっている。

居住地域の“みどり”の評価【全体、性別、年齢別、居住地別】



2. 満足理由

問1で居住地域においての“みどり”に『満足』していると選択した方にお尋ねします。

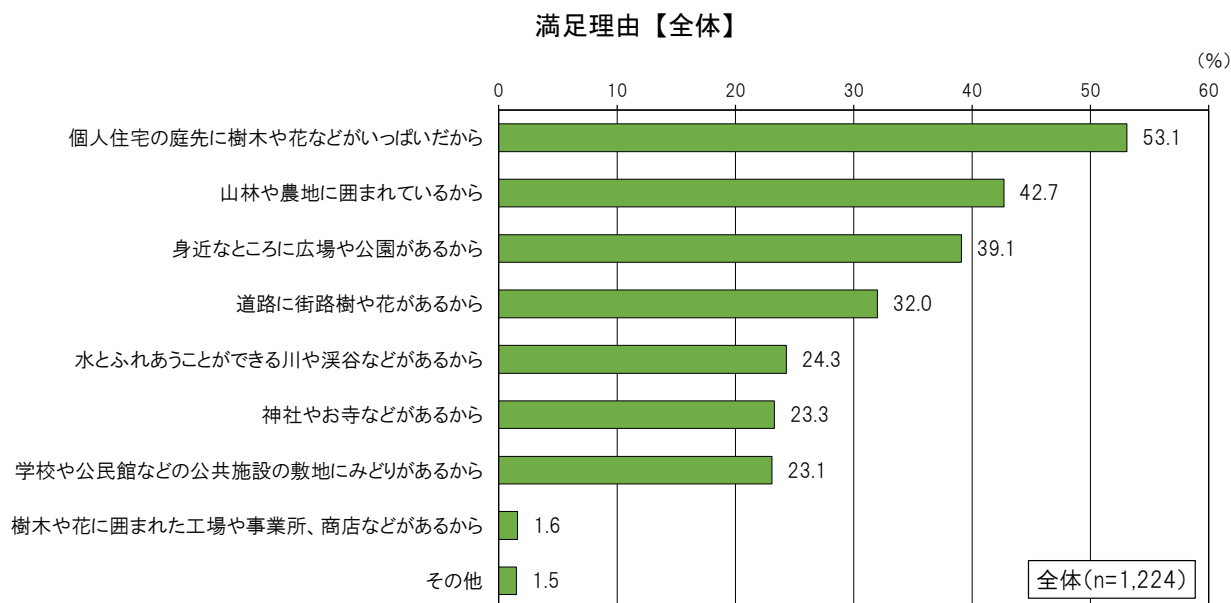
問2 “みどり”の豊かさやふれあいに満足している理由をお聞かせください。【〇はいくつでも】

“みどり”の豊かさやふれあいの満足理由についてみると、「個人住宅の庭先に樹木や花などがいっぱいだから」の割合が53.1%と最も高くなっており、次いで「山林や農地に囲まれているから」(42.7%)、「身近なところに広場や公園があるから」(39.1%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「個人住宅の庭先に樹木や花などがいっぱいだから」(男性49.2%、女性56.0%)の割合が最も高くなっており、男性は次いで「山林や農地に囲まれているから」(45.0%)、女性は次いで「身近なところに広場や公園があるから」(41.7%)の順となっている。

年齢別にみると、30歳～59歳を除くいずれの年齢も「個人住宅の庭先に樹木や花などがいっぱいだから」の割合が最も高くなっている。また、30歳～59歳は「山林や農地に囲まれているから」の割合が最も高くなっている。

居住地別にみると、それぞれ最も高い割合となっているのは、旧佐賀市、旧大和町、旧川副町、旧久保田町は「個人住宅の庭先に樹木や花などがいっぱいだから」、旧富士町、旧三瀬村、旧東与賀町は「山林や農地に囲まれているから」となっている。特に旧三瀬村と旧東与賀町は8割を超えて高くなっている。また、旧諸富町は「身近なところに広場や公園があるから」が最も高くなっている。



満足理由【全体、性別、年齢別、居住地別】

単位： 上段=% 下段=人		合計	木個人 だや住 から宅 などの 庭先に 樹	山林や 農地に 囲まれ	身近な ところ に広場	道路に 街路樹 や花が	水とふ れあう ことが	神社や お寺な どがあ	公立学 校や公 民館な どの敷 地にみ	工場や 事業所 、商店	その他	無回答
全体		100.0 1,224	53.1 650	42.7 523	39.1 479	32.0 392	24.3 298	23.3 285	23.1 283	1.6 19	1.5 18	0.8 10
性別	男性	100.0 524	49.2 258	45.0 236	35.5 186	24.8 130	26.7 140	25.6 134	21.4 112	1.7 9	1.9 10	0.4 2
	女性	100.0 695	56.0 389	41.2 286	41.7 290	37.6 261	22.6 157	21.6 150	24.6 171	1.3 9	1.2 8	1.0 7
年齢別	20歳未満	100.0 21	52.4 11	23.8 5	52.4 11	23.8 5	19.0 4	23.8 5	23.8 5	- -	- -	- -
	20歳～29歳	100.0 77	50.6 39	36.4 28	44.2 34	42.9 33	23.4 18	22.1 17	20.8 16	1.3 1	1.3 1	- -
	30歳～39歳	100.0 126	47.6 60	50.0 63	42.9 54	34.1 43	23.0 29	17.5 22	18.3 23	2.4 3	0.8 1	0.8 1
	40歳～49歳	100.0 185	45.9 85	61.6 114	41.6 77	27.6 51	24.3 45	24.9 46	20.0 37	1.6 3	1.6 3	1.1 2
	50歳～59歳	100.0 174	43.7 76	58.0 101	26.4 46	31.0 54	20.1 35	19.0 33	20.7 36	3.4 6	0.6 1	1.1 2
	60歳～69歳	100.0 228	56.6 129	34.2 78	40.4 92	30.3 69	25.4 58	22.8 52	22.4 51	0.4 1	1.3 3	- -
	70歳以上	100.0 410	60.5 248	32.4 133	39.8 163	32.9 135	26.6 109	26.8 110	28.0 115	1.2 5	2.2 9	1.2 5
居住地別	旧佐賀市	100.0 622	57.1 355	29.1 181	45.8 285	43.4 270	20.9 130	20.6 128	24.3 151	1.9 12	0.8 5	1.0 6
	旧諸富町	100.0 74	36.5 27	28.4 21	48.6 36	36.5 27	8.1 6	21.6 16	14.9 11	- -	5.4 4	- -
	旧大和町	100.0 126	54.0 68	50.8 64	36.5 46	15.9 20	31.0 39	22.2 28	21.4 27	0.8 1	- -	- -
	旧富士町	100.0 85	42.4 36	83.5 71	7.1 6	16.5 14	57.6 49	22.4 19	14.1 12	3.5 3	3.5 3	1.2 1
	旧三瀬村	100.0 70	51.4 36	94.3 66	5.7 4	14.3 10	60.0 42	35.7 25	31.4 22	- -	2.9 2	- -
	旧川副町	100.0 75	57.3 43	48.0 36	21.3 16	20.0 15	8.0 6	32.0 24	21.3 16	1.3 1	- -	- -
	旧東与賀町	100.0 72	47.2 34	56.9 41	52.8 38	25.0 18	11.1 8	26.4 19	36.1 26	1.4 1	2.8 2	1.4 1
	旧久保田町	100.0 90	53.3 48	44.4 40	51.1 46	15.6 14	17.8 16	26.7 24	17.8 16	1.1 1	2.2 2	1.1 1

3. 不満理由

問1で居住地域においての“みどり”に『不満』であると選択した方にお尋ねします。

問3 “みどり”の豊かさやふれあいに不満な理由をお聞かせください。【〇はいくつでも】

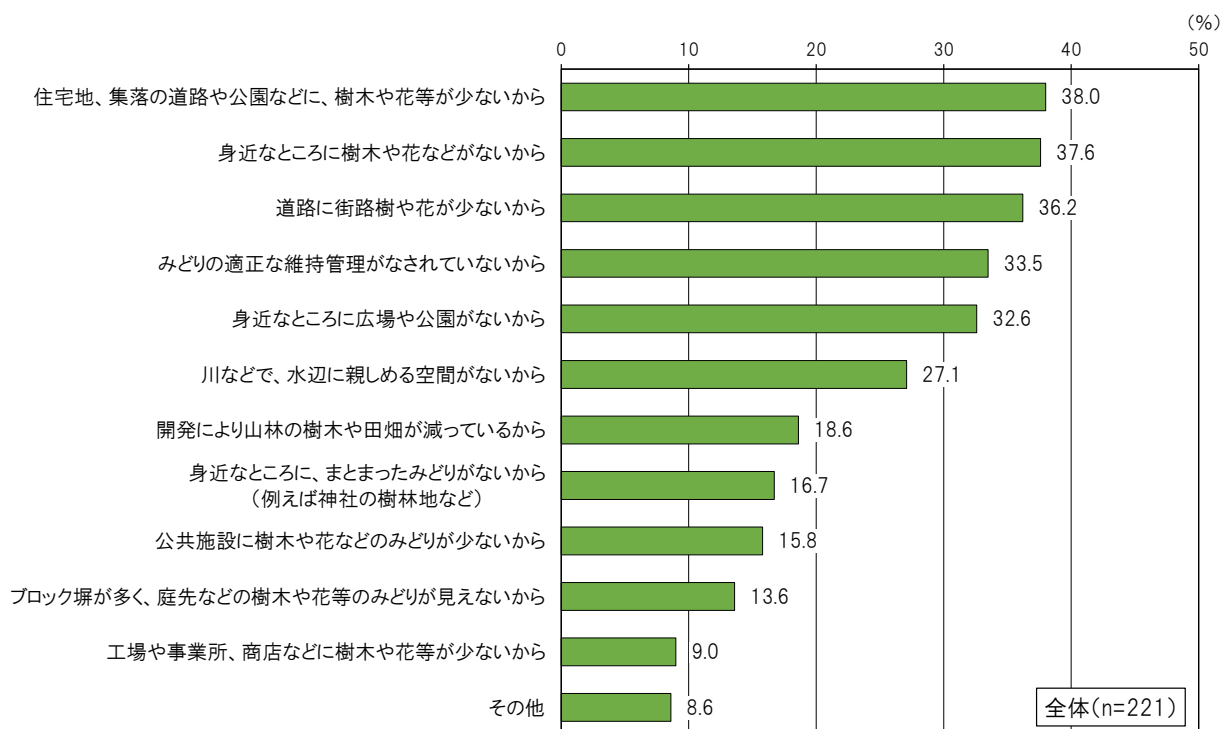
“みどり”の豊かさやふれあいの不満理由についてみると、「住宅地、集落の道路や公園などに、樹木や花等が少ないから」の割合が38.0%と最も高くなっており、次いで「身近なところに樹木や花などが少ないから」(37.6%)、「道路に街路樹や花が少ないから」(36.2%)の順となっている。

性別にみると、男性は「住宅地、集落の道路や公園などに、樹木や花等が少ないから」(36.4%)の割合が最も高くなっており、次いで「道路に街路樹や花が少ないから」(35.5%)の順となっており、女性は「身近なところに樹木や花などが少ないから」(42.5%)の割合が最も高くなっており、次いで「住宅地、集落の道路や公園などに、樹木や花等が少ないから」と「身近なところに広場や公園がないから」(ともに39.8%)の順となっている。

年齢別にみると、それぞれ最も高い割合となっているのは、60歳～69歳は「住宅地、集落の道路や公園などに、樹木や花等が少ないから」(46.5%)、70歳以上は「住宅地、集落の道路や公園などに、樹木や花等が少ないから」と「身近なところに樹木や花などが少ないから」(ともに44.3%)となっている。

居住地別にみると、旧佐賀市は「みどりの適正な維持管理がなされていないから」(41.3%)の割合が最も高くなっている。

不満理由【全体】



不満理由【全体、性別、年齢別、居住地別】

単位： 上段=% 下段=人		合計	住宅地、集落などに、樹木や花等が少ない	身近なところに樹木や花などがないから	道路に街路樹や花が少ないから	みどりの適正な維持管理がなされていないから	身近なところに広場や公園がないから	川などで、水辺に親しめる空間がないから	開発により山林の樹木や田畑が減っているから	たみどりが少ないから（例えれば神社の樹林地など）	身近なところに、まともな公共施設に樹木や花などがないから	見えないから、庭先など、プロック塀が多く、庭先など、樹木や花等のみどりが少ないから	工場や事業所、商店などに樹木や花等が少ないから	その他	無回答
全体		100.0 221	38.0 84	37.6 83	36.2 80	33.5 74	32.6 72	27.1 60	18.6 41	16.7 37	15.8 35	13.6 30	9.0 20	8.6 19	2.7 6
性別	男性	100.0 107	36.4 39	31.8 34	35.5 38	29.0 31	25.2 27	23.4 25	15.9 17	16.8 18	14.0 15	15.0 16	8.4 9	11.2 12	2.8 3
	女性	100.0 113	39.8 45	42.5 48	36.3 41	38.1 43	39.8 45	31.0 35	21.2 24	16.8 19	17.7 20	12.4 14	9.7 11	6.2 7	2.7 3
年齢別	20歳未満	100.0 2	50.0 1	50.0 1	50.0 1	50.0 1	- -	- -	50.0 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	20歳～29歳	100.0 12	33.3 4	41.7 5	41.7 5	25.0 3	25.0 3	8.3 1	25.0 3	25.0 3	16.7 2	16.7 2	8.3 1	8.3 1	- -
	30歳～39歳	100.0 18	22.2 4	38.9 7	33.3 6	27.8 5	33.3 6	16.7 3	38.9 7	16.7 3	5.6 1	16.7 3	5.6 1	- -	5.6 1
	40歳～49歳	100.0 25	24.0 6	24.0 6	40.0 10	48.0 12	24.0 6	32.0 8	24.0 6	8.0 2	16.0 4	8.0 2	4.0 1	12.0 3	- -
	50歳～59歳	100.0 32	31.3 10	28.1 9	34.4 11	37.5 12	37.5 12	21.9 7	15.6 5	15.6 5	9.4 3	6.3 2	6.3 2	6.3 2	6.3 2
	60歳～69歳	100.0 43	46.5 20	34.9 15	37.2 16	27.9 12	30.2 13	27.9 12	11.6 5	20.9 9	16.3 7	9.3 4	11.6 5	9.3 4	2.3 1
	70歳以上	100.0 88	44.3 39	44.3 39	34.1 30	33.0 29	36.4 32	33.0 29	15.9 14	17.0 15	20.5 18	19.3 17	11.4 10	10.2 9	2.3 2
居住地別	旧佐賀市	100.0 109	40.4 44	32.1 35	34.9 38	41.3 45	32.1 35	29.4 32	22.9 25	18.3 20	15.6 17	16.5 18	11.9 13	8.3 9	2.8 3
	旧諸富町	100.0 14	35.7 5	28.6 4	35.7 5	35.7 5	28.6 4	21.4 3	7.1 1	7.1 1	35.7 5	14.3 2	14.3 2	- -	7.1 1
	旧大和町	100.0 24	41.7 10	37.5 9	37.5 9	25.0 6	45.8 11	25.0 6	29.2 7	20.8 5	16.7 4	16.7 4	- -	8.3 2	- -
	旧富士町	100.0 8	37.5 3	25.0 2	- -	62.5 5	12.5 1	25.0 2	- -	- -	- -	- -	- -	25.0 2	- -
	旧三瀬村	100.0 6	16.7 1	16.7 1	33.3 2	50.0 3	33.3 2	16.7 1	- -	16.7 1	16.7 1	- -	- -	33.3 2	16.7 1
	旧川副町	100.0 27	44.4 12	55.6 15	44.4 12	14.8 4	37.0 10	33.3 9	7.4 2	18.5 5	11.1 3	11.1 3	11.1 3	7.4 2	- -
	旧東与賀町	100.0 13	23.1 3	38.5 5	38.5 5	23.1 3	30.8 4	23.1 3	15.4 2	15.4 2	- -	- -	- -	7.7 1	7.7 1
	旧久保田町	100.0 17	29.4 5	58.8 10	47.1 8	17.6 3	23.5 4	23.5 4	23.5 4	17.6 4	29.4 5	17.6 3	5.9 1	5.9 1	- -

Ⅱ 将来の“みどり”について

1. 今後の佐賀市全体の“みどり”について

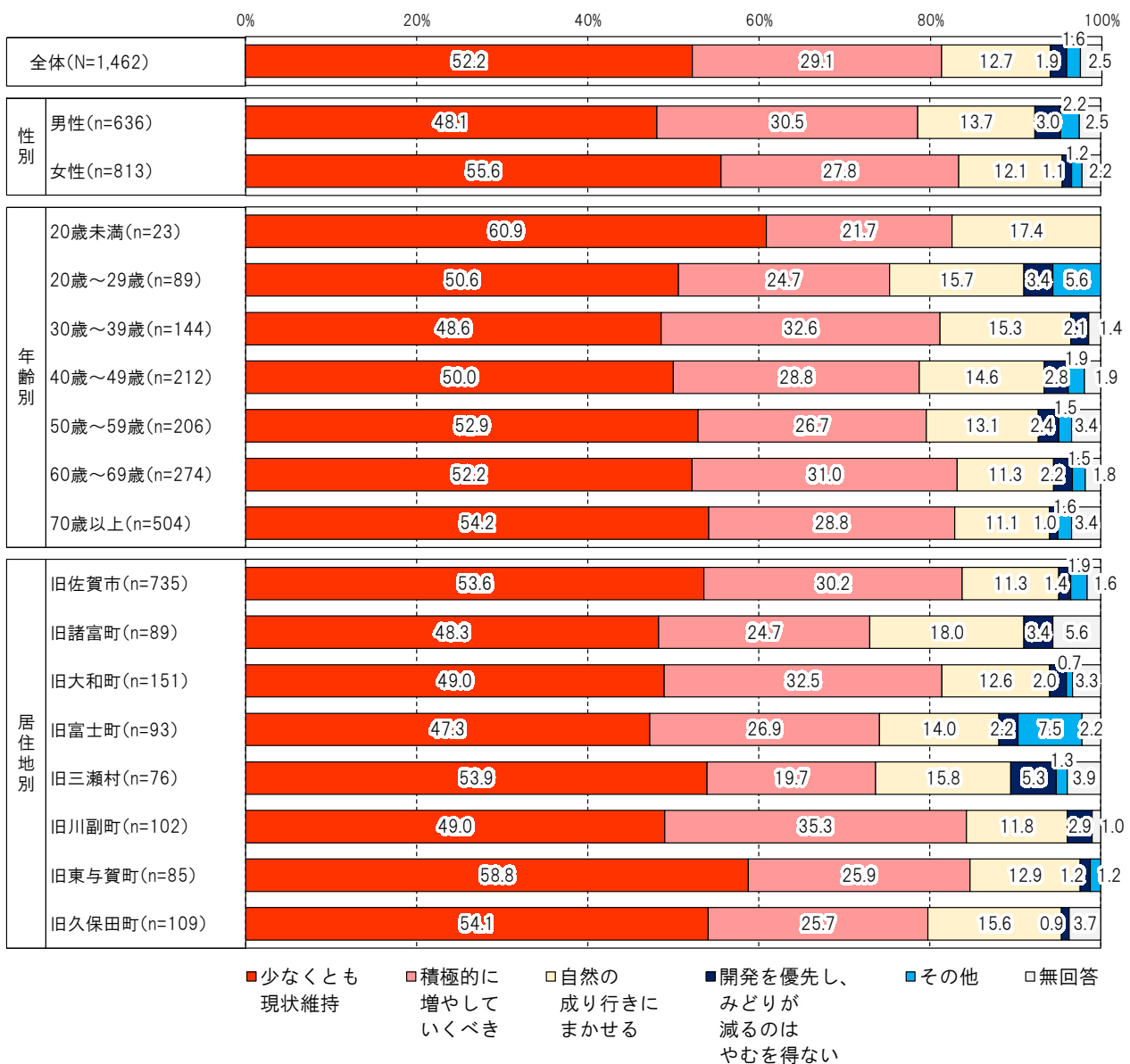
問4 今後、佐賀市全体の“みどり”についてどのようにしていきべきだと思いますか。

【〇は1つ】

今後の佐賀市全体の“みどり”についてみると、「少なくとも現状維持」の割合が52.2%と半数を超え最も高くなっており、次いで「積極的に増やしていくべき」の順となっている。

性別、年齢別、居住地別にみると、いずれの属性も「少なくとも現状維持」の割合が最も高くなっており、次いで「積極的に増やしていくべき」の順となっている。

今後の佐賀市全体の“みどり”について【全体、性別、年齢別、居住地別】



2. 市街地において増やしていくべき“みどり”

問5 佐賀市では、街なかの良好な景観を作り出すために、平成23年8月に重点的に緑化を推進していく地区として、中心市街地や城内地区を中心とした区域（約300ヘクタール）を「みどり重点地区」として指定しています。

今後、佐賀市の市街地において、こういった“みどり”を増やしていくべきだと思いますか。

【〇は2つまで】

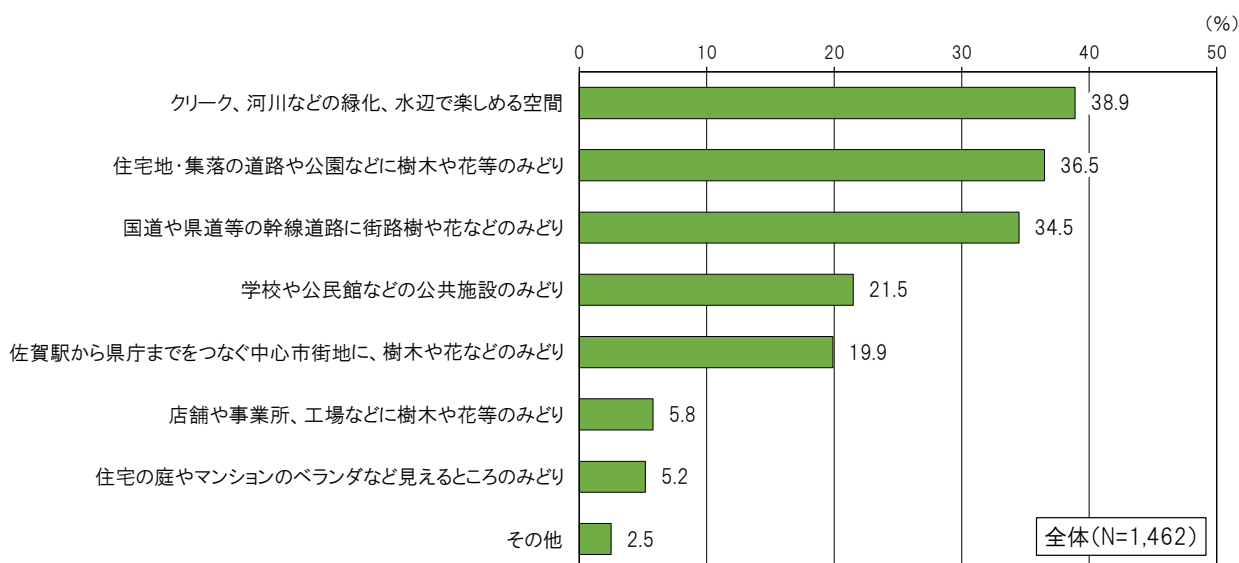
市街地において増やしていくべき“みどり”についてみると、「クリーク、河川などの緑化、水辺で楽しめる空間」の割合が38.9%と最も高くなっており、次いで「住宅地・集落の道路や公園などに樹木や花等のみどり」（36.5%）、「国道や県道等の幹線道路に街路樹や花などのみどり」（34.5%）の順となっている。

性別にみると、男性は「クリーク、河川などの緑化、水辺で楽しめる空間」（42.9%）の割合が最も高くなっており、次いで「住宅地・集落の道路や公園などに樹木や花等のみどり」（37.9%）の順となっており、女性は「国道や県道等の幹線道路に街路樹や花などのみどり」（36.9%）の割合が最も高くなっており、次いで「クリーク、河川などの緑化、水辺で楽しめる空間」（36.2%）の順となっている。

年齢別にみると、それぞれ最も高い割合となっているのは20歳～29歳は「国道や県道等の幹線道路に街路樹や花などのみどり」（39.3%）、30歳～39歳、50歳～59歳、60歳～69歳は「クリーク、河川などの緑化、水辺で楽しめる空間」、40歳～49歳は「国道や県道等の幹線道路に街路樹や花などのみどり」（36.3%）、70歳以上は「住宅地・集落の道路や公園などに樹木や花等のみどり」（39.7%）となっている。

居住地別にみると、それぞれ最も高い割合となっているのは旧佐賀市、旧大和町、旧富士町、旧川副町、旧久保田町は「クリーク、河川などの緑化、水辺で楽しめる空間」、旧諸富町、旧東与賀町は「住宅地・集落の道路や公園などに樹木や花等のみどり」、旧三瀬村は「国道や県道等の幹線道路に街路樹や花などのみどり」となっている。

市街地において増やしていくべき“みどり”【全体】



市街地において増やしていくべき“みどり”【全体、性別、年齢別、居住地別】

単位: 上段=% 下段=人		合計	空間緑化、クリーク、水辺で河川などめるの	公園・住宅地などに集落の道路や花等	国道や県道等の幹線道路	学校や公民館などの公	つなぐ中心市街地を	佐賀駅から県庁までを	店舗や事業所、工場など	住宅の庭やマンション	その他	無回答
全体		100.0 1,462	38.9 569	36.5 534	34.5 504	21.5 315	19.9 291	5.8 85	5.2 76	2.5 37	4.0 59	
性別	男性	100.0 636	42.9 273	37.9 241	31.1 198	21.5 137	16.5 105	6.9 44	5.7 36	2.5 16	3.8 24	
	女性	100.0 813	36.2 294	35.7 290	36.9 300	21.6 176	22.6 184	4.9 40	4.9 40	2.6 21	3.9 32	
年齢別	20歳未満	100.0 23	30.4 7	26.1 6	26.1 6	26.1 6	47.8 11	4.3 1	4.3 1	4.3 1	- -	
	20歳～29歳	100.0 89	34.8 31	33.7 30	39.3 35	20.2 18	27.0 24	6.7 6	5.6 5	5.6 5	- -	
	30歳～39歳	100.0 144	40.3 58	38.2 55	32.6 47	25.7 37	21.5 31	3.5 5	4.2 6	1.4 2	2.8 4	
	40歳～49歳	100.0 212	35.8 76	34.0 72	36.3 77	25.0 53	24.5 52	6.6 14	3.3 7	1.9 4	3.3 7	
	50歳～59歳	100.0 206	44.7 92	35.4 73	37.4 77	18.9 39	15.5 32	6.3 13	5.3 11	2.4 5	4.9 10	
	60歳～69歳	100.0 274	44.5 122	35.4 97	33.2 91	19.0 52	20.1 55	6.2 17	6.2 17	2.6 7	4.0 11	
	70歳以上	100.0 504	35.9 181	39.7 200	32.7 165	21.4 108	16.7 84	5.6 28	5.8 29	2.6 13	5.2 26	
居住地別	旧佐賀市	100.0 735	40.1 295	38.5 283	34.1 251	20.3 149	21.8 160	6.3 46	4.6 34	2.3 17	3.0 22	
	旧諸富町	100.0 89	34.8 31	37.1 33	33.7 30	20.2 18	18.0 16	4.5 4	4.5 4	1.1 1	7.9 7	
	旧大和町	100.0 151	34.4 52	33.8 51	33.8 51	17.2 26	23.8 36	9.9 15	7.9 12	2.6 4	3.3 5	
	旧富士町	100.0 93	41.9 39	32.3 30	30.1 28	24.7 23	14.0 13	4.3 4	8.6 8	3.2 3	6.5 6	
	旧三瀬村	100.0 76	28.9 22	36.8 28	42.1 32	19.7 15	13.2 10	5.3 4	- -	3.9 3	6.6 5	
	旧川副町	100.0 102	48.0 49	36.3 37	34.3 35	26.5 27	17.6 18	2.0 2	8.8 9	- -	2.9 3	
	旧東与賀町	100.0 85	35.3 30	44.7 38	36.5 31	29.4 25	16.5 14	4.7 4	5.9 5	3.5 3	1.2 1	
	旧久保田町	100.0 109	44.0 48	27.5 30	35.8 39	25.7 28	16.5 18	2.8 3	3.7 4	2.8 3	6.4 7	

3. 古木・巨木の保存の可否と理由

問6 神社の境内などに残る古木・巨木を積極的に保存していくべきだと思いますか。
理由も合わせてお答えください。

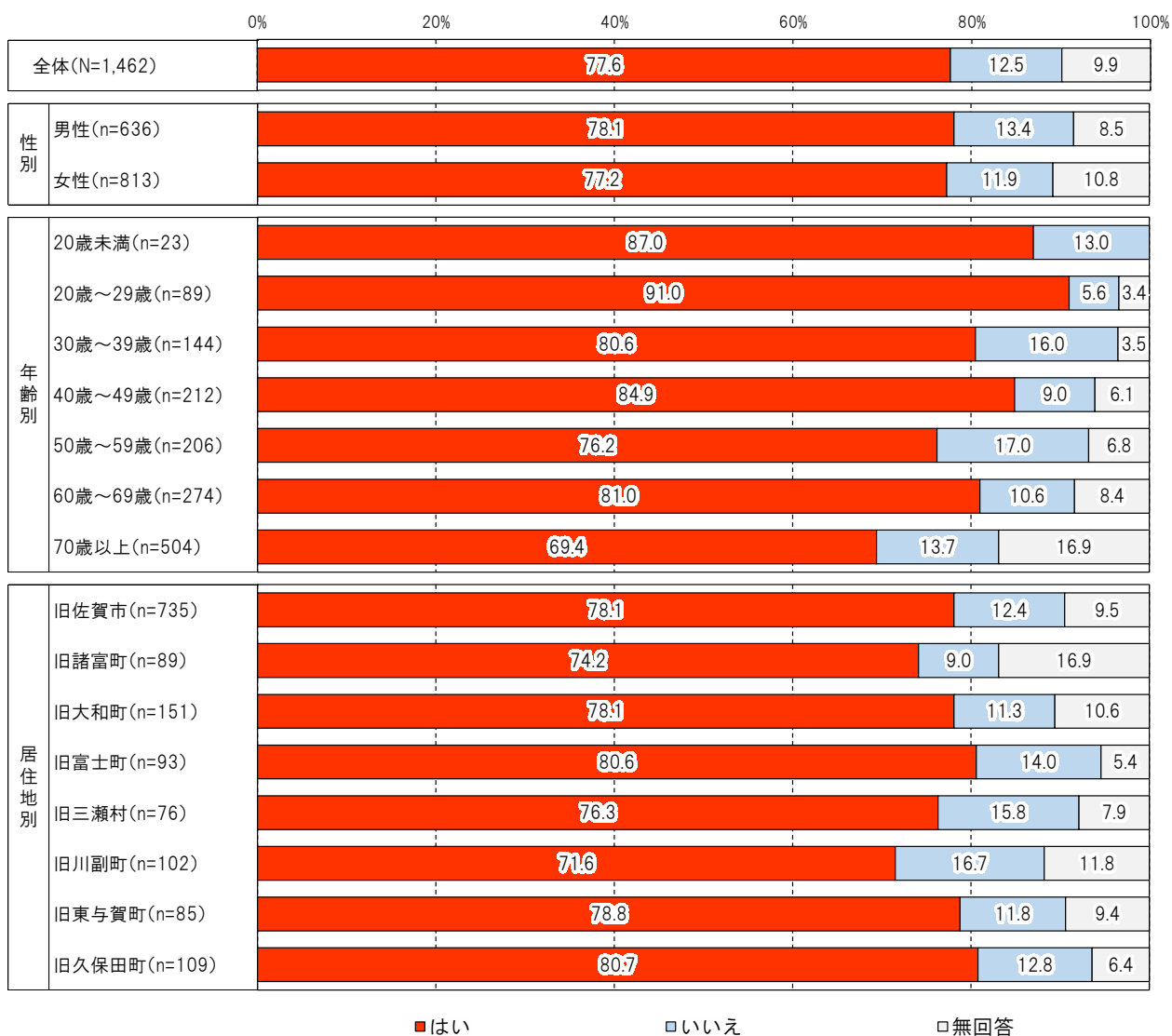
古木・巨木の保存の可否についてみると、「はい」（保存していくべき）の割合が77.6%と7割を超えている。

性別にみると、「はい」（保存していくべき）の割合は、男女ともほぼ同程度となっている。（男性78.1%、女性77.2%）

年齢別にみると、「はい」（保存していくべき）の割合は、70歳以上を除くいずれの年齢も7割を超えており、特に29歳未満では9割近くと高くなっている。

居住地別にみると、「はい」（保存していくべき）の割合は、いずれの地域も7割を超えており、特に旧富士町、旧久保田町が8割を超えている。

古木・巨木の保存の可否【全体、性別、年齢別、居住地別】



Ⅲ みどりあふれるまちづくりについて

1. イメージする“みどり”の役割

問7 “みどり”の役割といえば何をイメージしますか。

【順番をつけて3つまで番号をお答えください】

イメージする“みどり”の役割についてみると、1番目のイメージは「大気の浄化作用などの環境保全の役割」の割合が33.6%と最も高くなっており、次いで「和みや癒しを与えてくれる役割」(19.3%)、「街なかのうるおいや四季の移ろいを感じさせる役割」(18.5%)の順となっている。

性別、年齢別、居住地別にみると、いずれの属性も1番目のイメージは「大気の浄化作用などの環境保全の役割」の割合が最も高くなっている。なお、20歳未満は回答数が少ないため参考程度の掲載とする。

2番目のイメージは「街なかのうるおいや四季の移ろいを感じさせる役割」の割合が20.6%と最も高くなっており、次いで「和みや癒しを与えてくれる役割」(16.9%)、「森林の保水作用による土砂流出、崩壊等の自然災害を抑制・緩和する役割」(16.3%)の順となっている。

性別、年齢別にみると、いずれの属性も2番目のイメージは「街なかのうるおいや四季の移ろいを感じさせる役割」の割合が最も高くなっている。なお、20歳未満は回答数が少ないため参考程度の掲載とする。

居住地別にみると、それぞれ最も高い割合となっているのは、旧佐賀市、旧諸富町、旧久保田町は「街なかのうるおいや四季の移ろいを感じさせる役割」、旧大和町、旧富士町、旧三瀬村は「森林の保水作用による土砂流出、崩壊等の自然災害を抑制・緩和する役割」、旧川副町、旧東与賀町は「和みや癒しを与えてくれる役割」となっている。

3番目のイメージは「和みや癒しを与えてくれる役割」の割合が17.2%と最も高くなっており、次いで「街なかのうるおいや四季の移ろいを感じさせる役割」(15.7%)、「良好な景観を創出する役割」(15.3%)の順となっている。

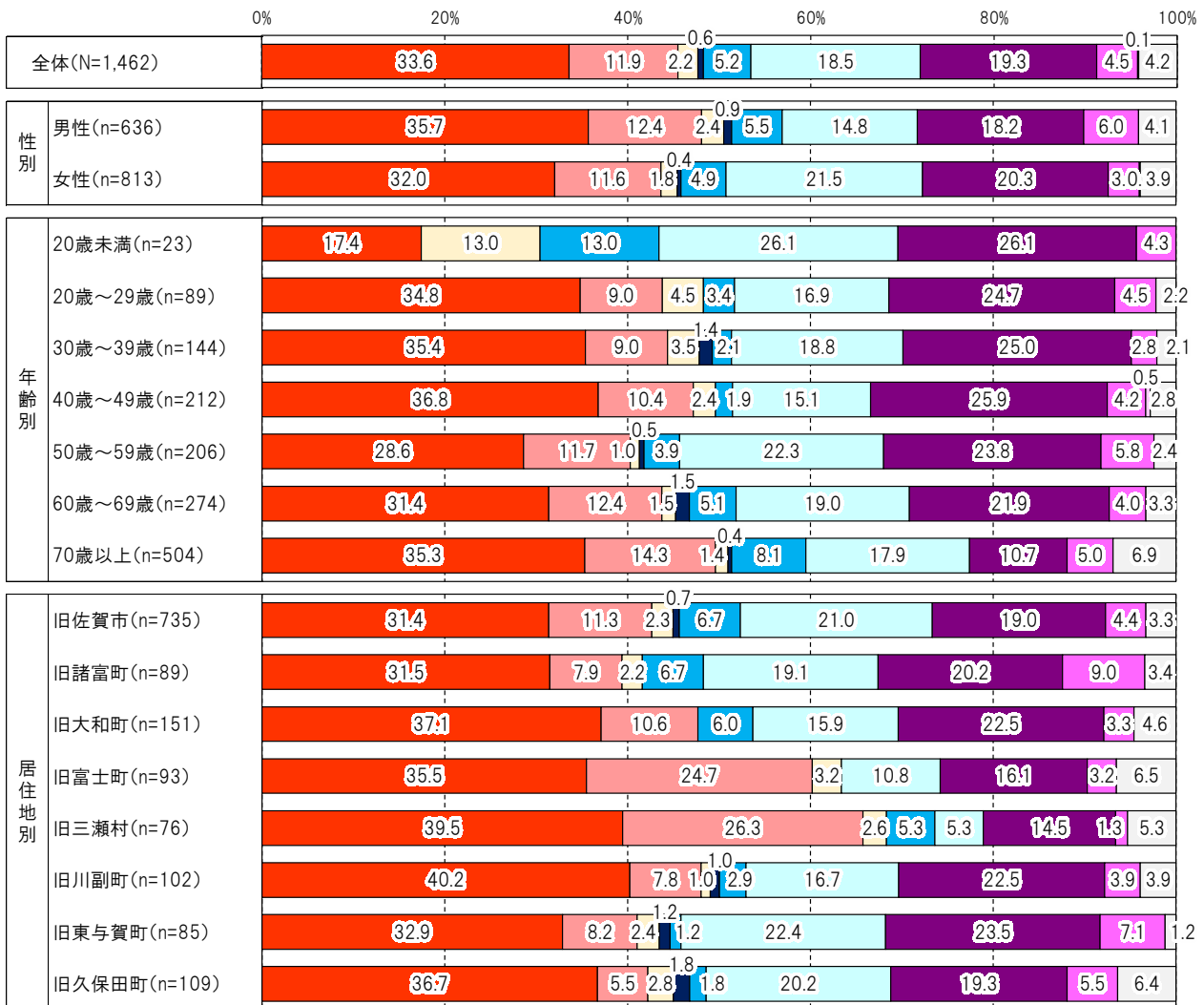
性別にみると、3番目のイメージは、男性は「和みや癒しを与えてくれる役割」(17.9%)、女性は「街なかのうるおいや四季の移ろいを感じさせる役割」(17.0%)の割合がそれぞれ最も高くなっている。

年齢別にみると、それぞれ最も高い割合となっているのは、29歳未満と60歳～69歳は「良好な景観を創出する役割」、30歳～39歳と40歳～49歳は「街なかのうるおいや四季の移ろいを感じさせる役割」、50歳～59歳は「街なかのうるおいや四季の移ろいを感じさせる役割」と「和みや癒しを与えてくれる役割」(ともに16.0%)、70歳以上は「和みや癒しを与えてくれる役割」となっている。

居住地別にみると、それぞれ最も高い割合となっているのは、旧佐賀市、旧川副町、旧久保田町は「街なかのうるおいや四季の移ろいを感じさせる役割」、旧諸富町、旧大和町、旧三瀬村、旧東与賀町は「和みや癒しを与えてくれる役割」、旧富士町は「野生動植物の生息地の役割」となっている。

1 番目にイメージする役割

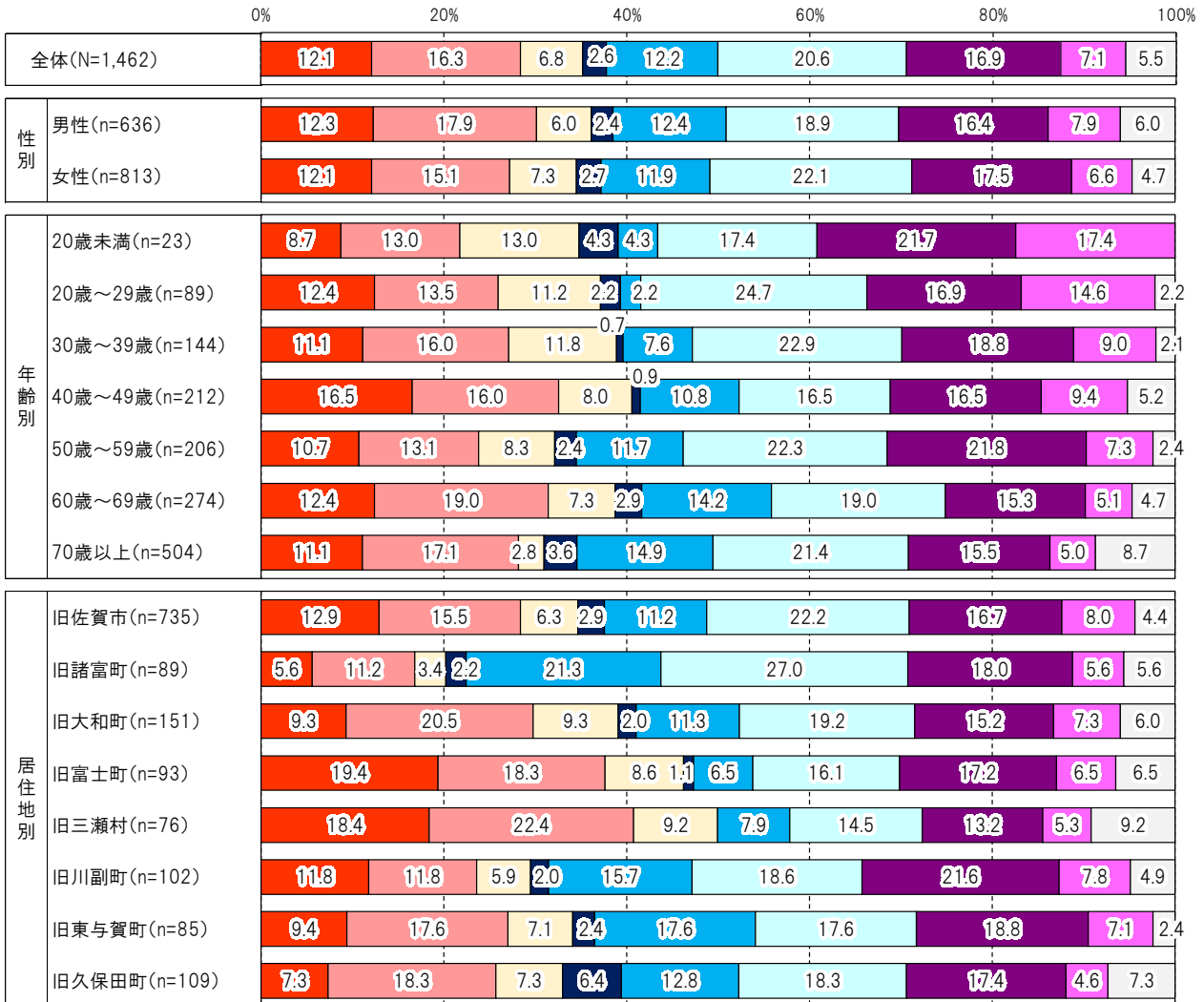
イメージする“みどり”の役割【全体、性別、年齢別、居住地別】



- 大気の浄化作用などの環境保全の役割
- 森林の保水作用による土砂流出、崩壊等の自然災害を抑制・緩和する役割
- 野生動植物の生息地の役割
- 火災の延焼防止や災害発生時の避難場所など防災機能の役割
- 木陰ができて市民の休息の場やレクリエーションの場の役割
- 街なかのうまいや四季の移ろいを感じさせる役割
- 和みや癒しを与えてくれる役割
- 良好な景観を創出する役割
- その他
- 無回答

2番目にイメージする役割

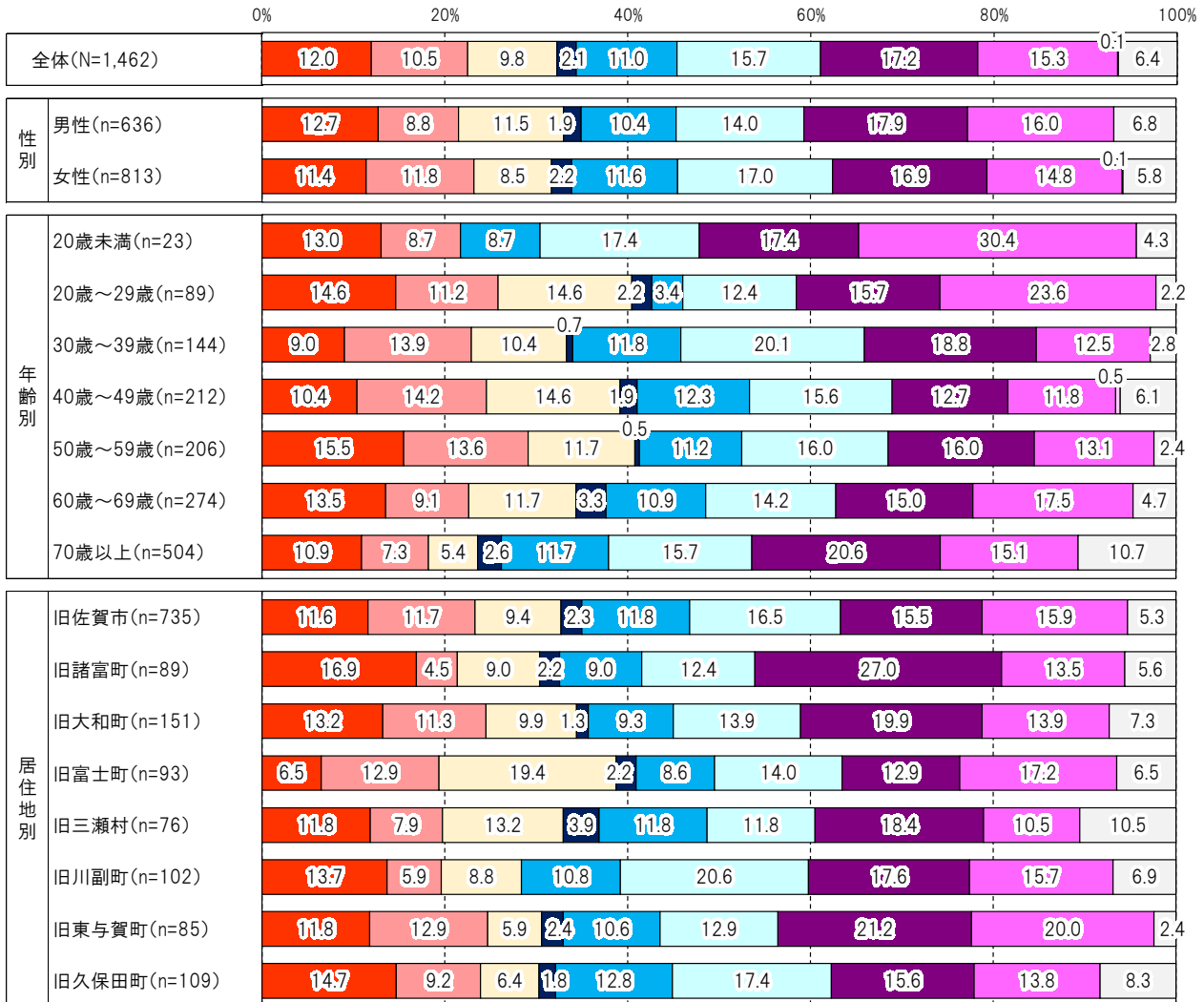
イメージする“みどり”の役割【全体、性別、年齢別、居住地別】



- 大気の浄化作用などの環境保全の役割
- 森林の保水作用による土砂流出、崩壊等の自然災害を抑制・緩和する役割
- 野生動植物の生息地の役割
- 火災の延焼防止や災害発生時の避難場所など防災機能の役割
- 木陰ができて市民の休息の場やレクリエーションの場の役割
- 街なかのうまいや四季の移ろいを感じさせる役割
- 和みや癒しを与えてくれる役割
- 良好な景観を創出する役割
- その他
- 無回答

3番目にイメージする役割

イメージする“みどり”の役割【全体、性別、年齢別、居住地別】



- 大気の浄化作用などの環境保全の役割
- 森林の保水作用による土砂流出、崩壊等の自然災害を抑制・緩和する役割
- 野生動植物の生息地の役割
- 火災の延焼防止や災害発生時の避難場所など防災機能の役割
- 木陰ができて市民の休息の場やレクリエーションの場の役割
- 街なかのうまいや四季の移ろいを感じさせる役割
- 和みや癒しを与えてくれる役割
- 良好な景観を創出する役割
- その他
- 無回答

2. 「緑の募金」の認知

問8 「緑の募金」を知っていますか。

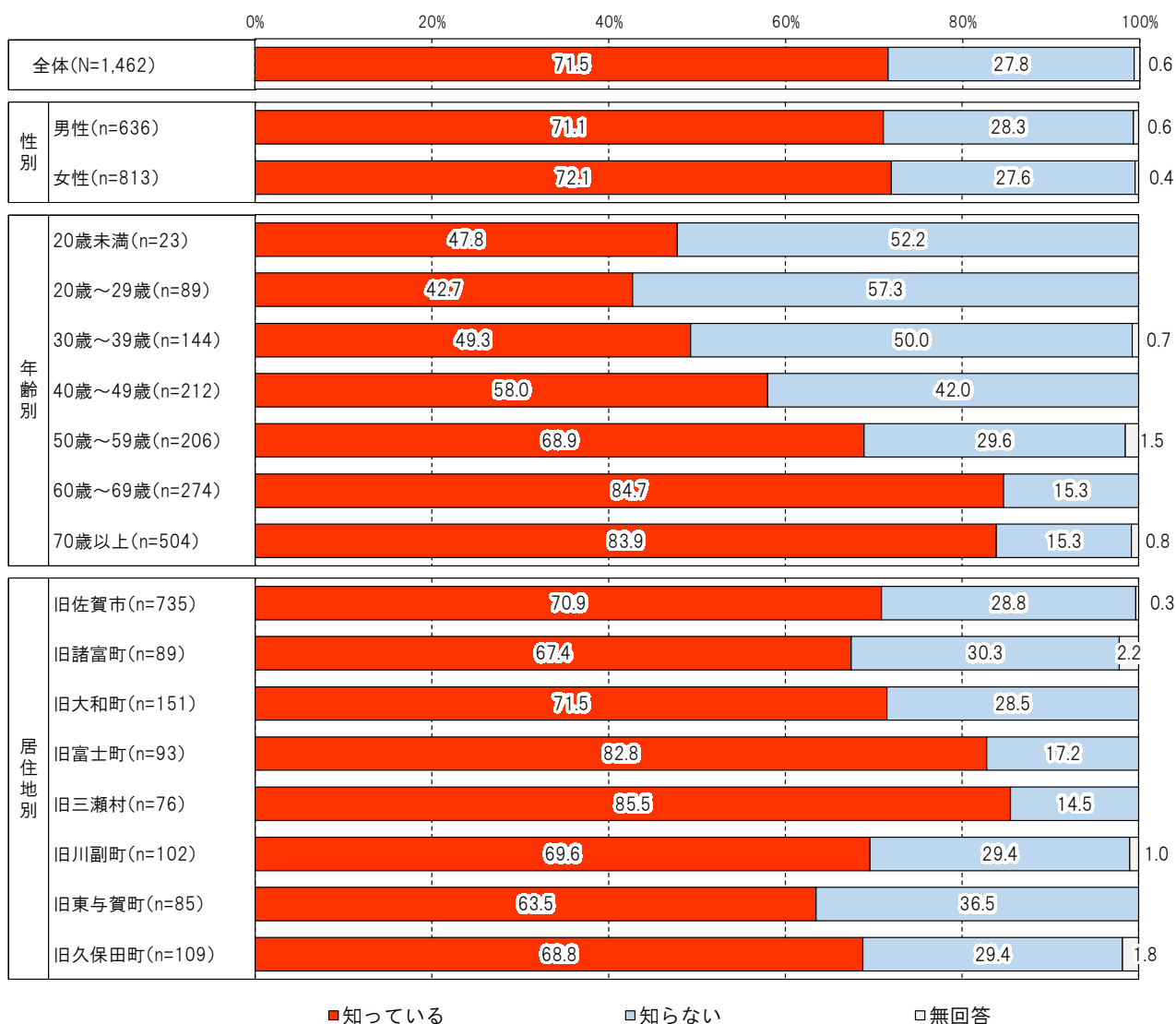
「緑の募金」の認知についてみると、「知っている」の割合が71.5%と7割を超えている。

性別にみると、「知っている」の割合は、男女ともほぼ同程度となっている。(男性71.1%、女性72.1%)

年齢別にみると、39歳未満は「知っている」より「知らない」の方が割合が高くなっている。また、「知っている」の割合は、年齢が高くなるにつれ、増える傾向がみられ、60歳以上では8割を超え高くなっている。

居住地別にみると、「知っている」の割合は、いずれの居住地も6割を超えており、旧三瀬村では85.5%と最も高くなっている。

「緑の募金」の認知【全体、性別、年齢別、居住地別】



3. みどりあふれるまちづくりに対する関心度

問9 みどりあふれるまちづくり（公園や地域での緑化など）に関心がありますか。【〇は1つ】

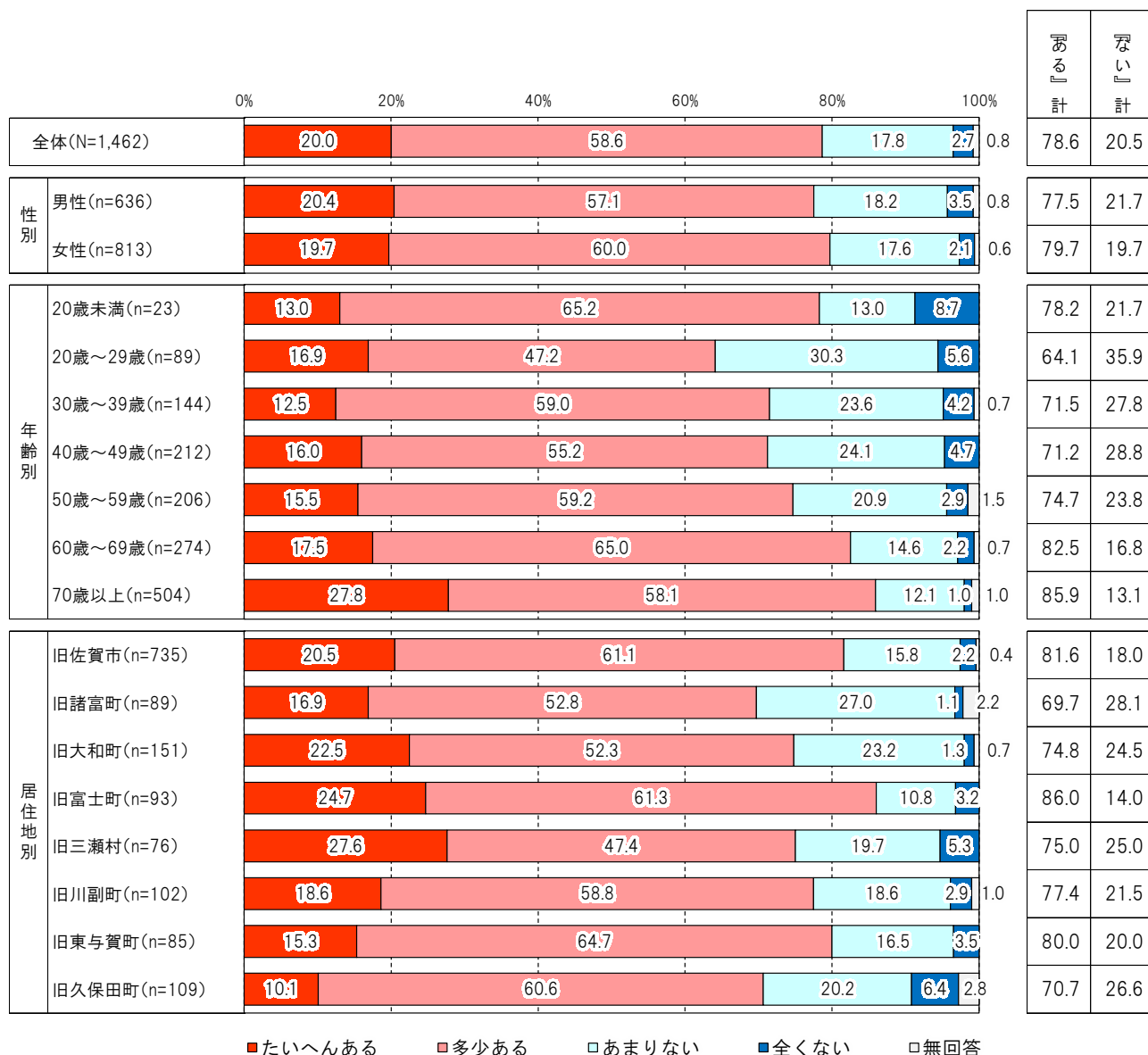
みどりあふれるまちづくりに対する関心度についてみると、『関心がある』（「たいへんある」と「多少ある」の合計）の割合が78.6%と8割近くを占めている。

性別にみると、『関心がある』の割合は、男性（77.5%）より女性（79.7%）の方が2.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『関心がある』の割合は、20歳～29歳を除くいずれの年齢も7割を超えて高くなっており、70歳以上では85.9%と最も高くなっている。

居住地別にみると、『関心がある』の割合は、旧諸富町を除くいずれの居住地も7割を超えており、旧富士町では86.0%と最も高くなっている。

みどりあふれるまちづくりに対する関心度【全体、性別、年齢別、居住地別】



4. “みどり”の活動の実施・関心度

問10 あなたが取り組んでいる、もしくは、取り組んでみたいと思う“みどり”の活動は何ですか。【○は各項目1つ】

“みどり”の活動の実施・関心度についてみると、「取り組んでいる」は『A 自宅の庭やベランダなど外から見える場所に木や花を植える』の項目で割合が57.3%と最も高くなっており、次いで『F 緑の募金への協力』(23.1%)、『B 公園や地域の花壇で花づくりや清掃をする』(14.9%)の順となっている。

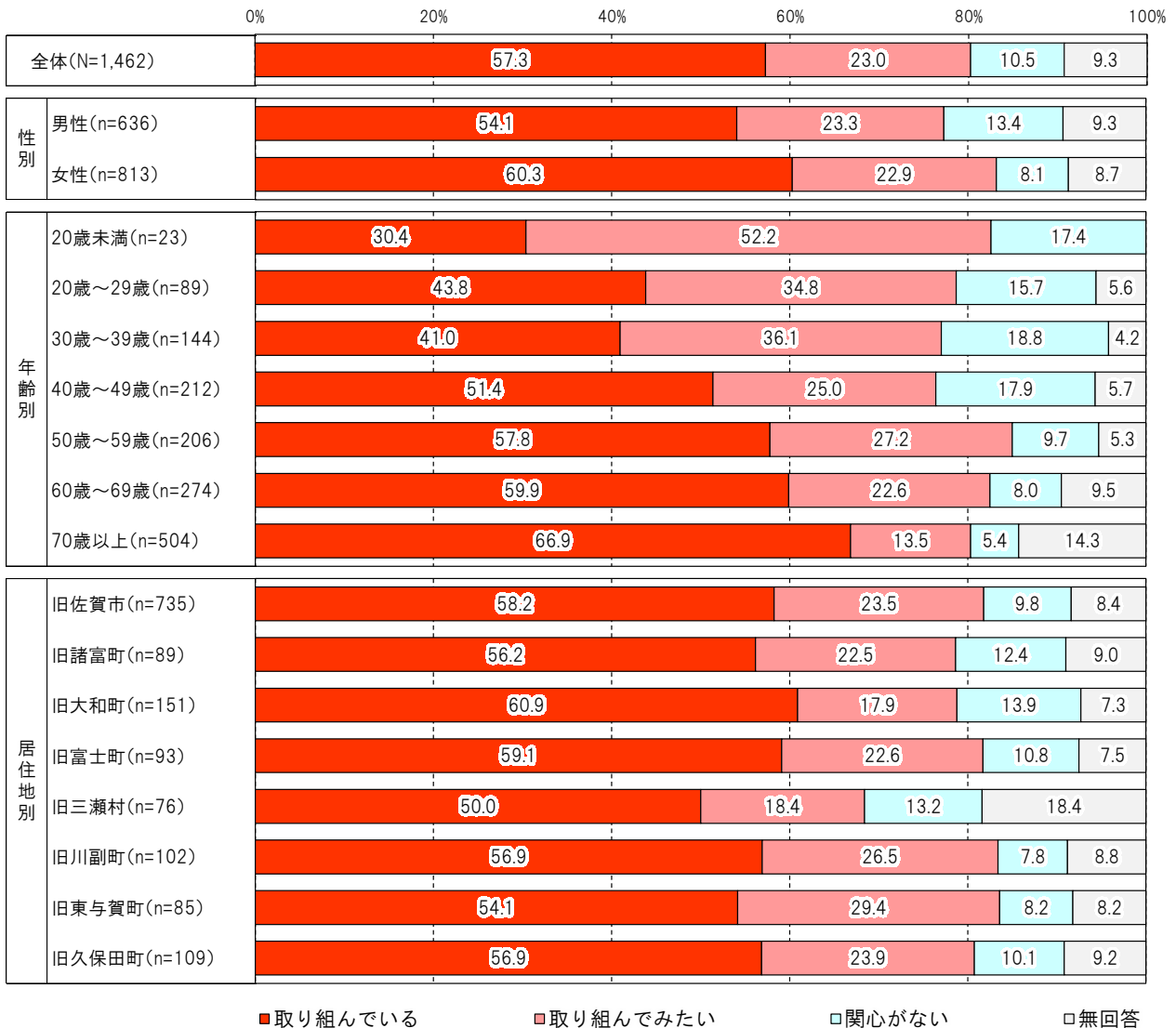
性別にみると、「取り組んでいる」で男性より女性の方が割合が高くなっている項目は『A 自宅の庭やベランダなど外から見える場所に木や花を植える』となっており、その他の項目はいずれも女性より男性の方が割合が高くなっている。なお、『F 緑の募金への協力』は男女同程度となっている。

年齢別にみると、「取り組んでいる」は『E 植樹や草刈り（育樹）など森林の保全活動』を除くいずれの項目も70歳以上の割合が最も高くなっている。また、『E 植樹や草刈り（育樹）など森林の保全活動』は50歳～59歳の割合が最も高くなっている。

居住地別にみると、「取り組んでいる」項目でそれぞれ最も高い割合となっているのは、『A 自宅の庭やベランダなど外から見える場所に木や花を植える』は旧大和町、『B 公園や地域の花壇で花づくりや清掃をする』と『F 緑の募金への協力』は旧富士町、『C 休耕田を借りて野菜づくり』、『D 落葉で堆肥を作る』、『E 植樹や草刈り（育樹）など森林の保全活動』は旧三瀬村となっている。

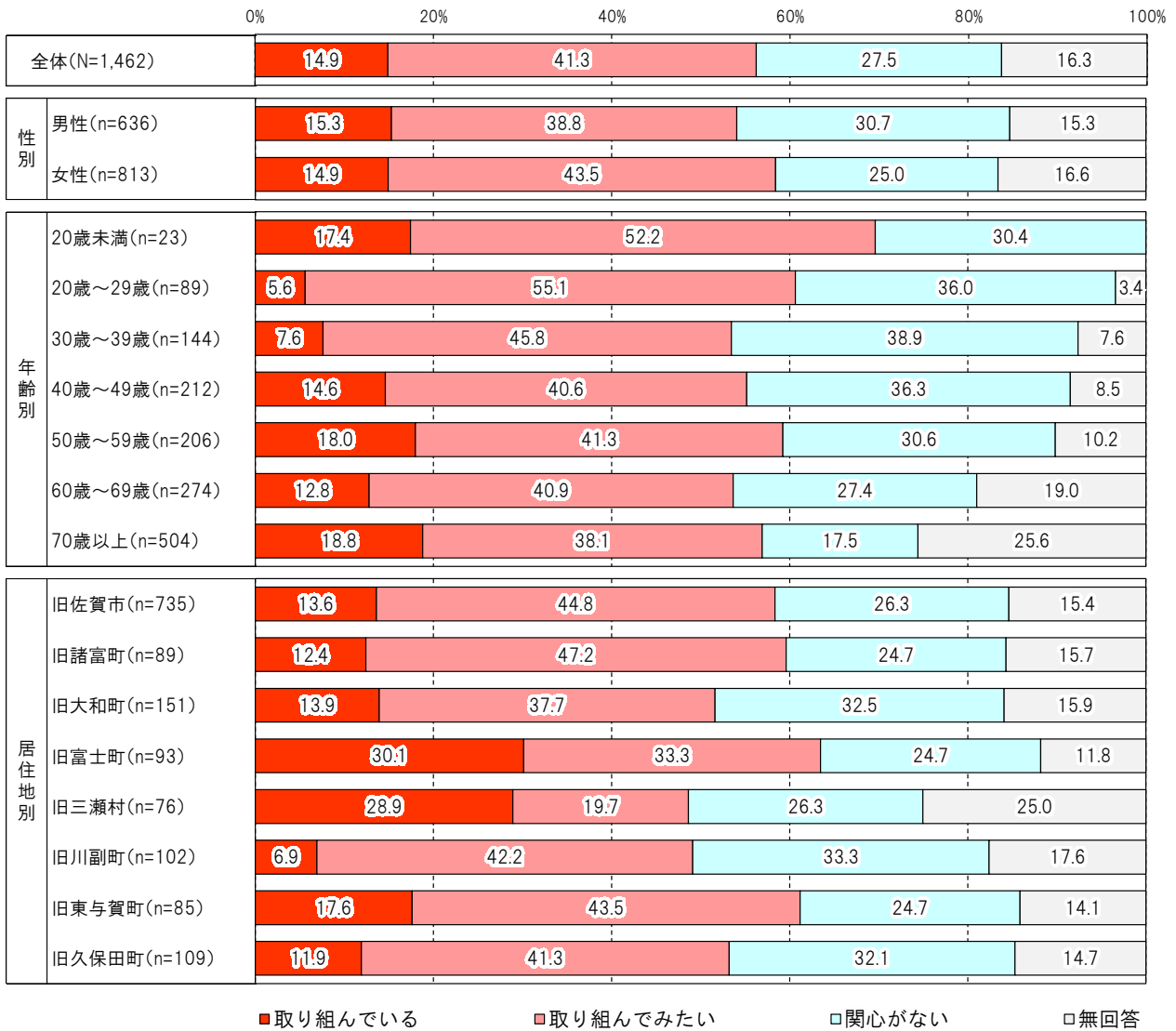
A 自宅の庭やベランダなど外から見える場所に木や花を植える

“みどり”の活動の実施・関心度【全体、性別、年齢別、居住地別】



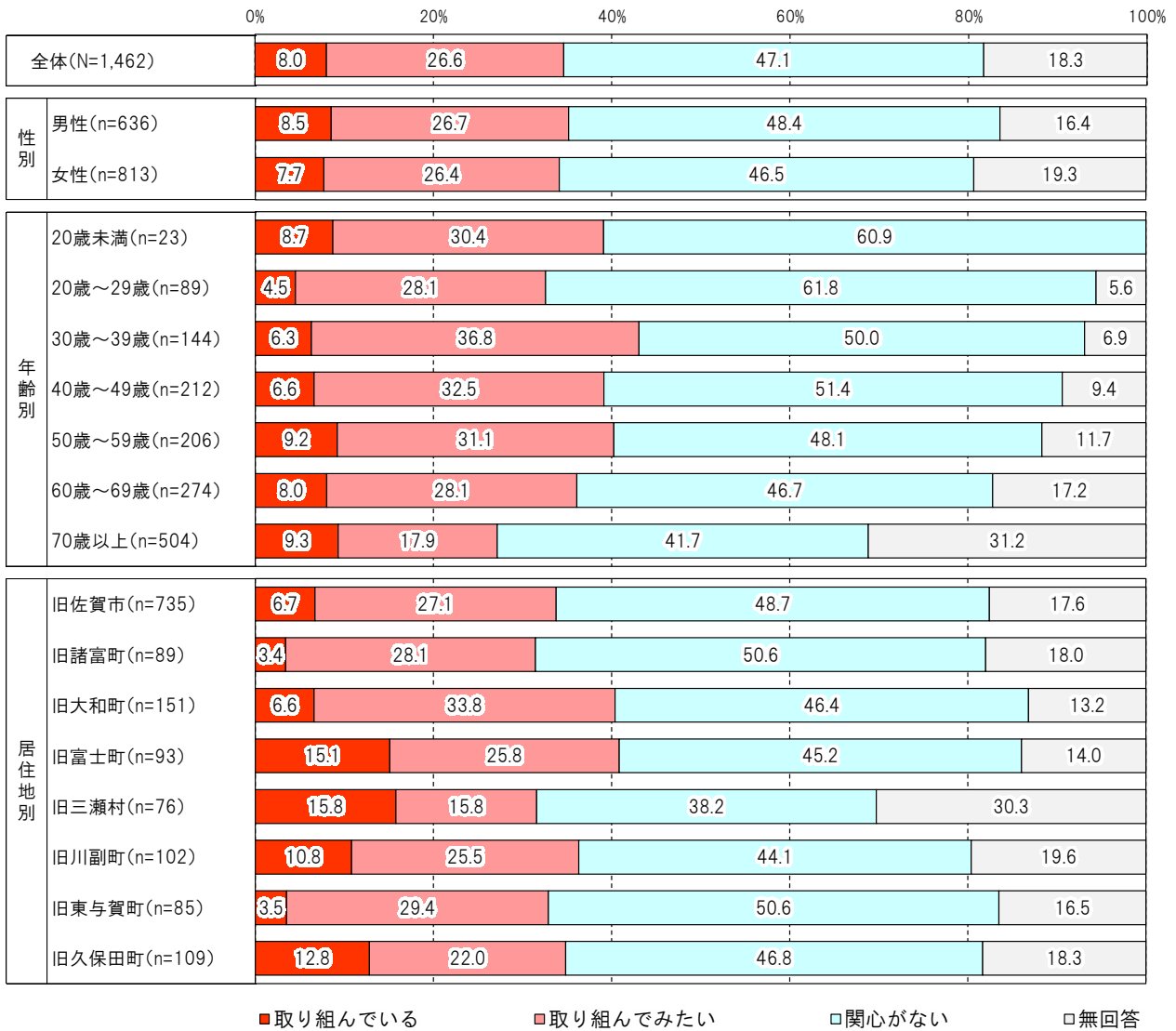
B 公園や地域の花壇で花づくりや清掃をする

“みどり”の活動の実施・関心度【全体、性別、年齢別、居住地別】



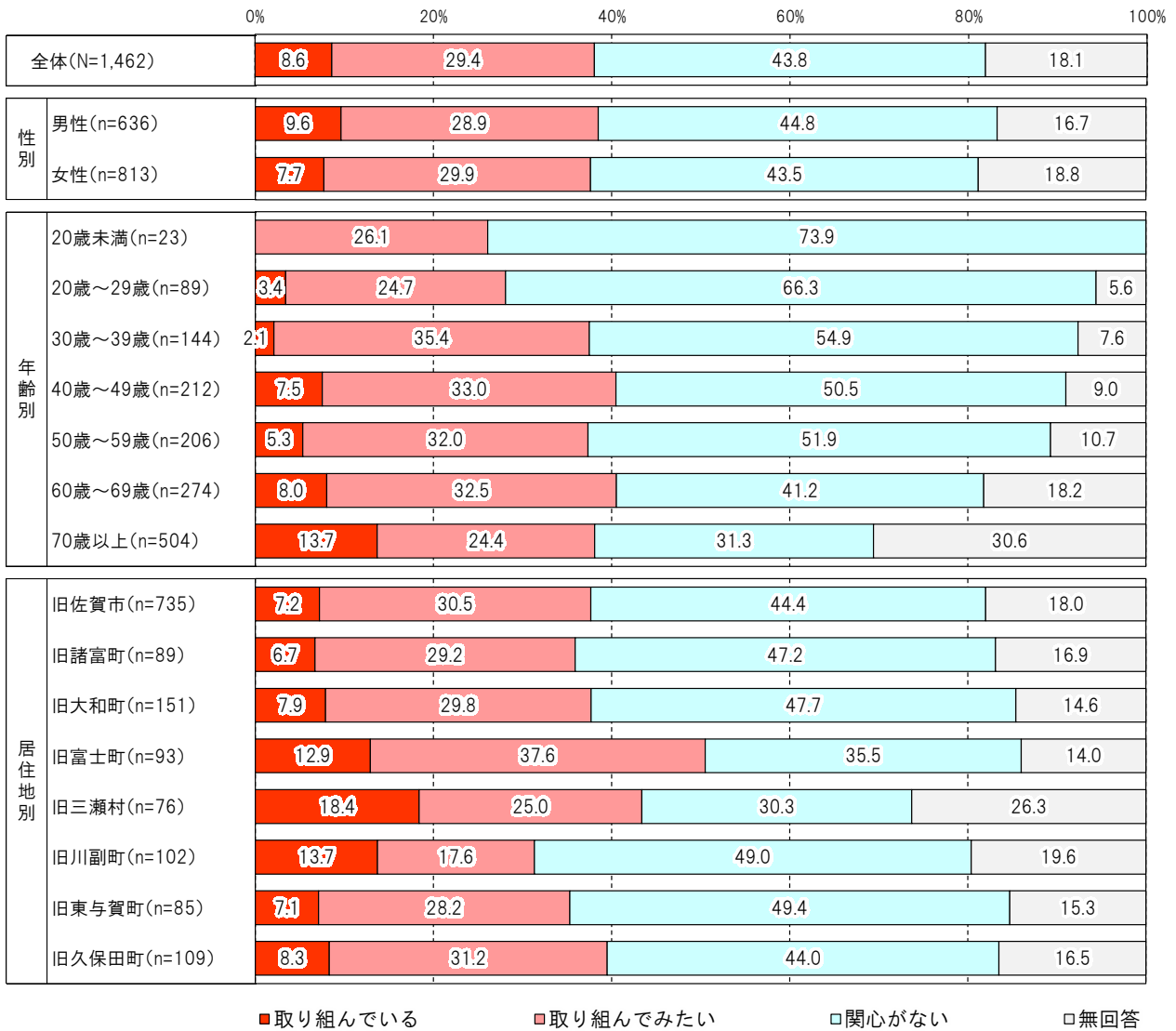
C 休耕田を借りて野菜づくり

“みどり”の活動の実施・関心度【全体、性別、年齢別、居住地別】



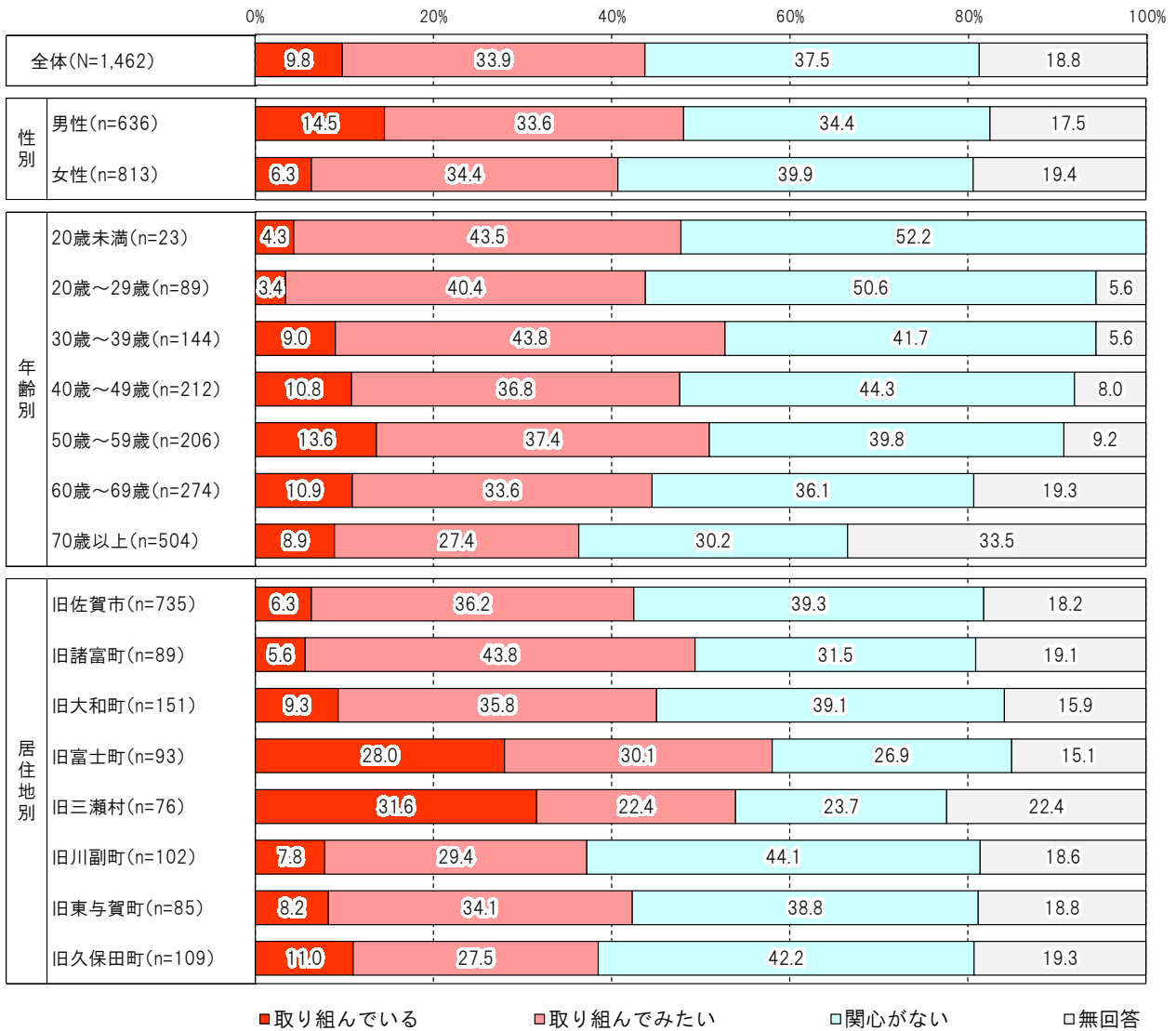
D 落ち葉で堆肥を作る

“みどり”の活動の実施・関心度【全体、性別、年齢別、居住地別】



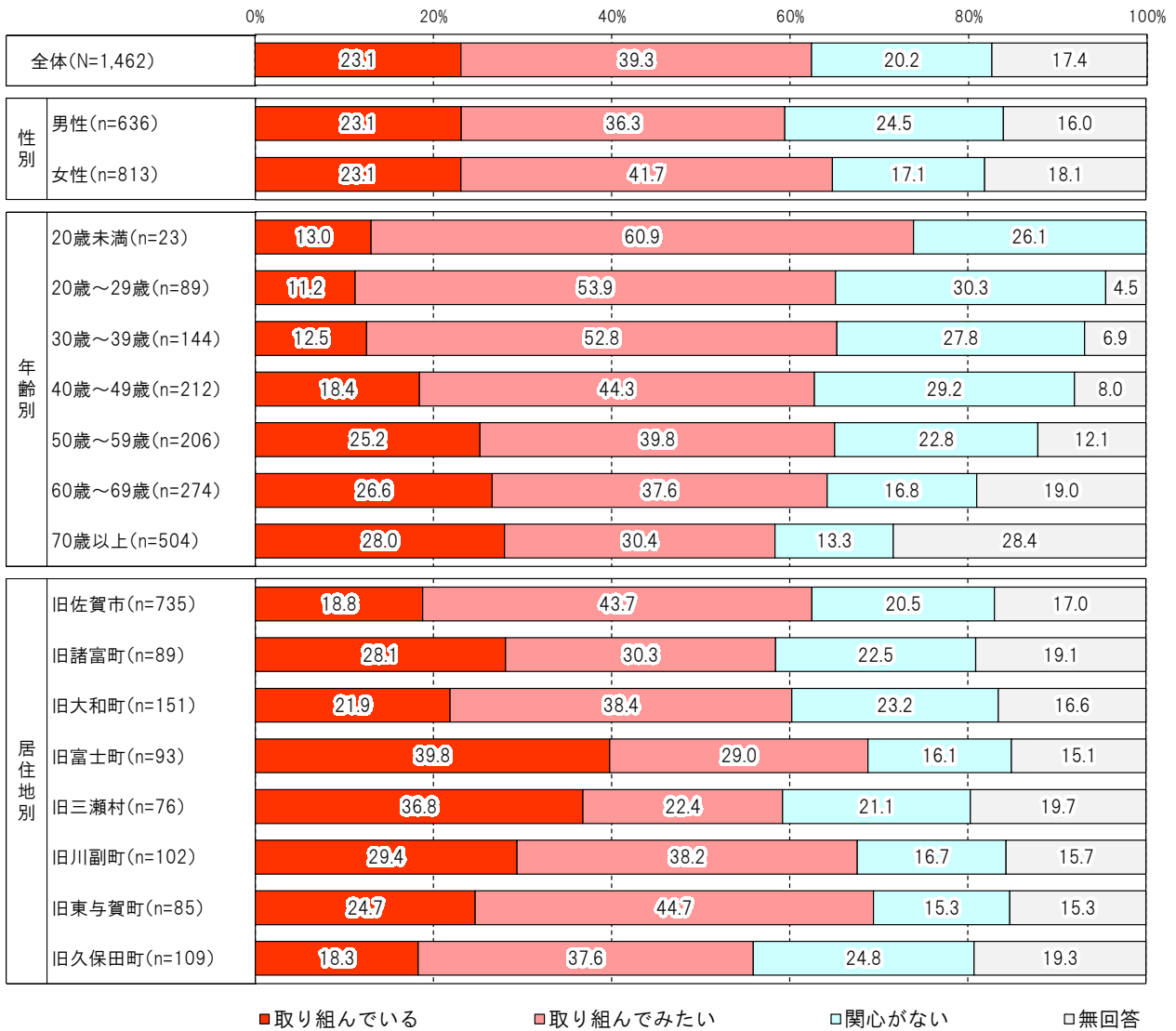
E 植樹や草刈り（育樹）など森林の保全活動

“みどり”の活動の実施・関心度【全体、性別、年齢別、居住地別】



F 緑の募金への協力

“みどり”の活動の実施・関心度【全体、性別、年齢別、居住地別】



5. 市からの支援

問11 “みどり”の活動をするにあたり、市からどのような支援があるとよいと思われますか。

【〇は1つ】

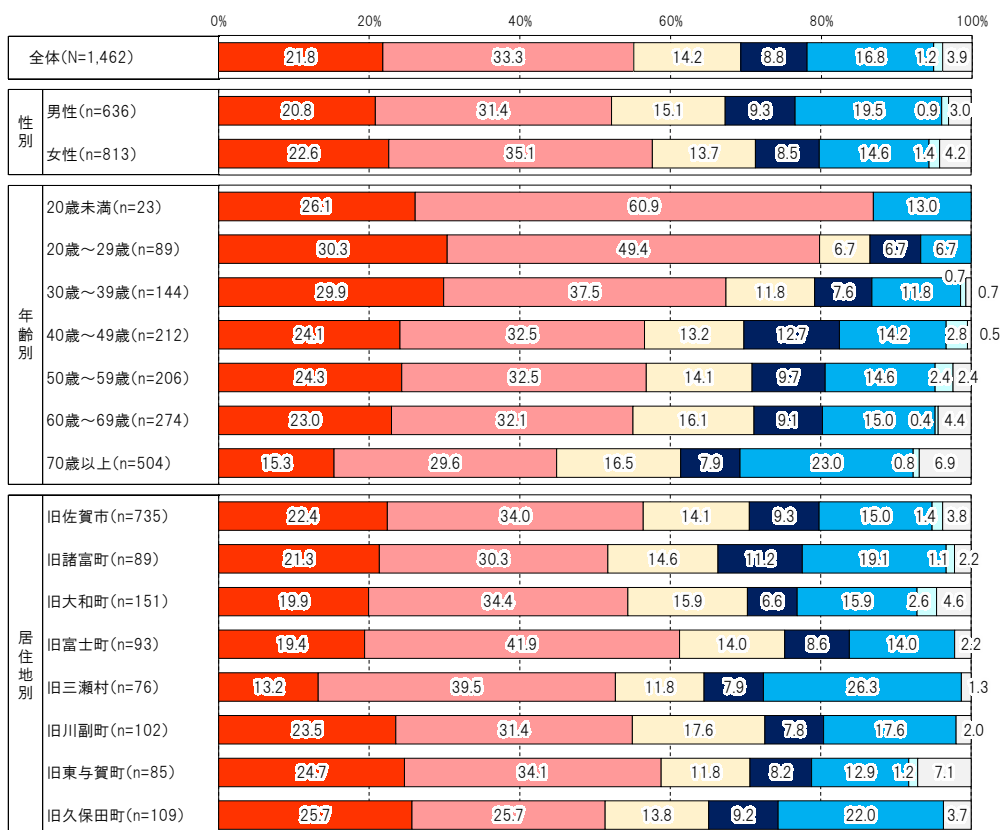
市からの支援についてみると、「花苗や資材、道具の配布（貸し出し）などの支援」の割合が33.3%と最も高くなっており、次いで「活動する場や仲間についての情報提供」（21.8%）、「特にない」（16.8%）の順となっている。

性別にみると、男女とも「花苗や資材、道具の配布（貸し出し）などの支援」（男性31.4%、女性35.1%）の割合が最も高くなっており、次いで「活動する場や仲間についての情報提供」（男性20.8%、女性22.6%）の順となっている。

年齢別にみると、いずれの年齢も「花苗や資材、道具の配布（貸し出し）などの支援」の割合が最も高くなっており、次いで70歳以上を除き「活動する場や仲間についての情報提供」の順となっている。

居住地別にみると、いずれの居住地も「花苗や資材、道具の配布（貸し出し）などの支援」の割合が最も高くなっており、次いで旧三瀬村を除き「活動する場や仲間についての情報提供」の順となっている。

市からの支援【全体、性別、年齢別、居住地別】



- 活動する場や仲間についての情報提供
- 花苗や資材、道具の配布（貸し出し）などの支援
- 講習会など知識や技術を学ぶ機会の提供
- 活動の支援や助言を行う専門家の派遣
- 特にない
- その他
- 無回答

6. 緑化推進に必要な行政の取り組み

問12 緑化を推進するための行政の取り組みとして、何が必要だと思いますか。【〇は1つ】

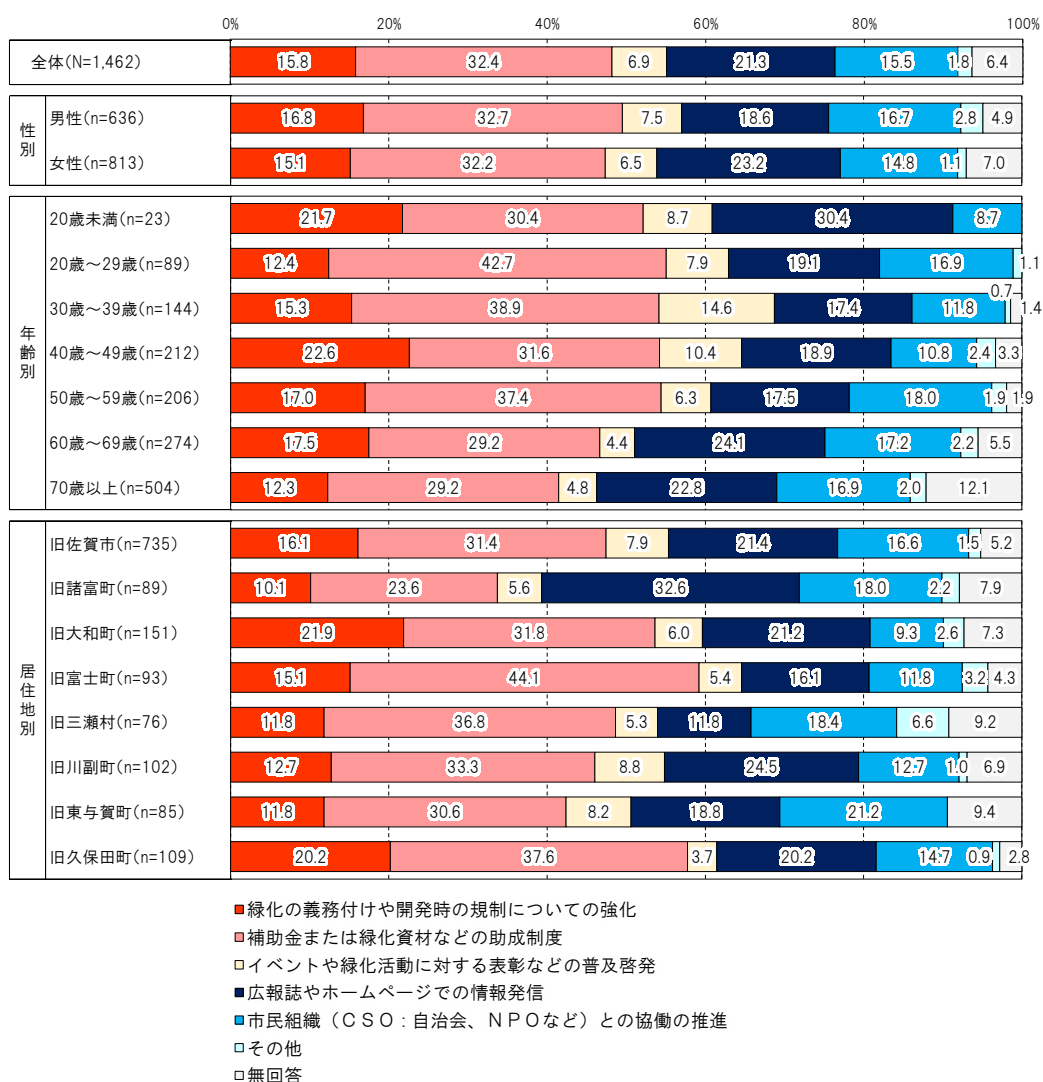
緑化推進に必要な行政の取り組みについてみると、「補助金または緑化資材などの助成制度」の割合が32.4%と最も高くなっており、次いで「広報紙やホームページでの情報発信」(21.3%)、「緑化の義務付けや開発時の規制についての強化」(15.8%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「補助金または緑化資材などの助成制度」(男性32.7%、女性32.2%)の割合が最も高くなっており、次いで「広報紙やホームページでの情報発信」(男性18.6%、女性23.2%)の順となっている。

年齢別にみると、いずれの年齢も「補助金または緑化資材などの助成制度」の割合が最も高くなっており、次いで40歳～49歳を除き「広報紙やホームページでの情報発信」の順となっている。

居住地別にみると、旧諸富町を除くいずれの居住地も「補助金または緑化資材などの助成制度」の割合が最も高くなっている。また、旧諸富町は「広報紙やホームページでの情報発信」(32.6%)の割合が最も高くなっている。

緑化推進に必要な行政の取り組み【全体、性別、年齢別、居住地別】



7. 情報発信の手段

問13 みどりに関する情報を発信する際、どのような手段で皆様にお知らせするのがいいと思いますか。【〇は1つ】

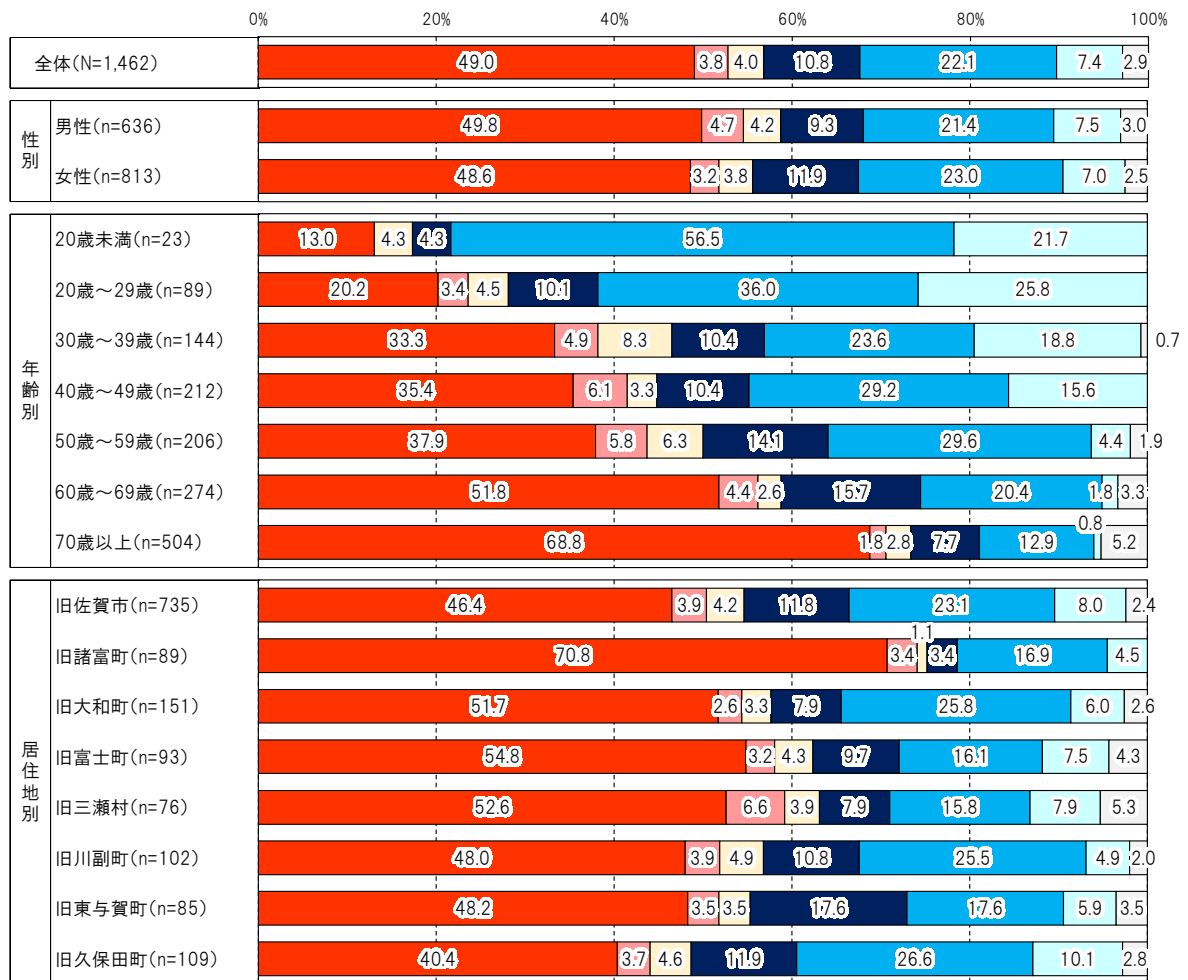
情報発信の手段についてみると、「市報さが」の割合が49.0%と最も高くなっており、次いで「テレビ、ラジオ番組」(22.1%)、「タウン誌、新聞広告」(10.8%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「市報さが」の割合が約半数を占めている。

年齢別にみると、「市報さが」は年齢が上がるにつれ、割合が増加する傾向がみられ、「ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア」は年齢が下がるにつれ、割合が増加する傾向がみられる。なお、20歳未満は回答数が少ないため参考程度の掲載とする。

居住地別にみると、いずれの居住地も「市報さが」の割合が最も高くなっており、旧諸富町が70.8%と特に高くなっている。

情報発信の手段【全体、性別、年齢別、居住地別】



- 市報さが
- 佐賀市ホームページ
- 公共施設においてあるチラシ、ポスター
- タウン誌、新聞広告
- テレビ、ラジオ番組
- ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア
- 無回答

IV 公園について

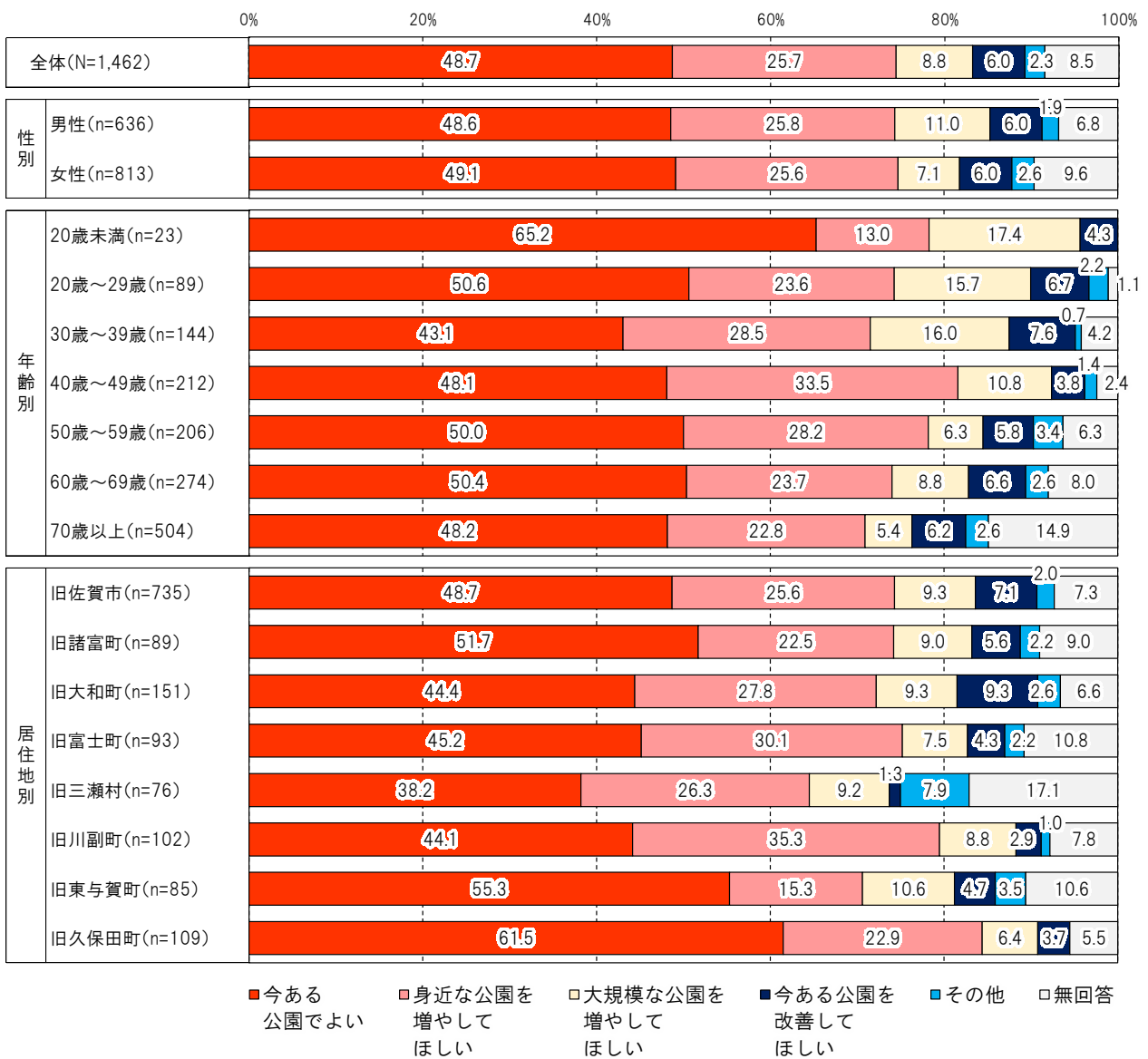
1. 公園についての考え

問15 公園についてどのように考えますか。【〇は1つ】

公園についての考えについてみると、「今ある公園でよい」の割合が48.7%と最も高くなっており、次いで「身近な公園を増やしてほしい」(25.7%)の順となっている。

性別、年齢別、居住地別にみると、いずれの属性も「今ある公園でよい」の割合が最も高くなっており、次いで「身近な公園を増やしてほしい」の順となっている。なお、20歳未満は回答数が少ないため参考程度の掲載とする。旧久保田町は「今ある公園でよい」の割合が6割を超え特に高くなっている。

公園についての考え【全体、性別、年齢別、居住地別】



2. 公園として必要な条件

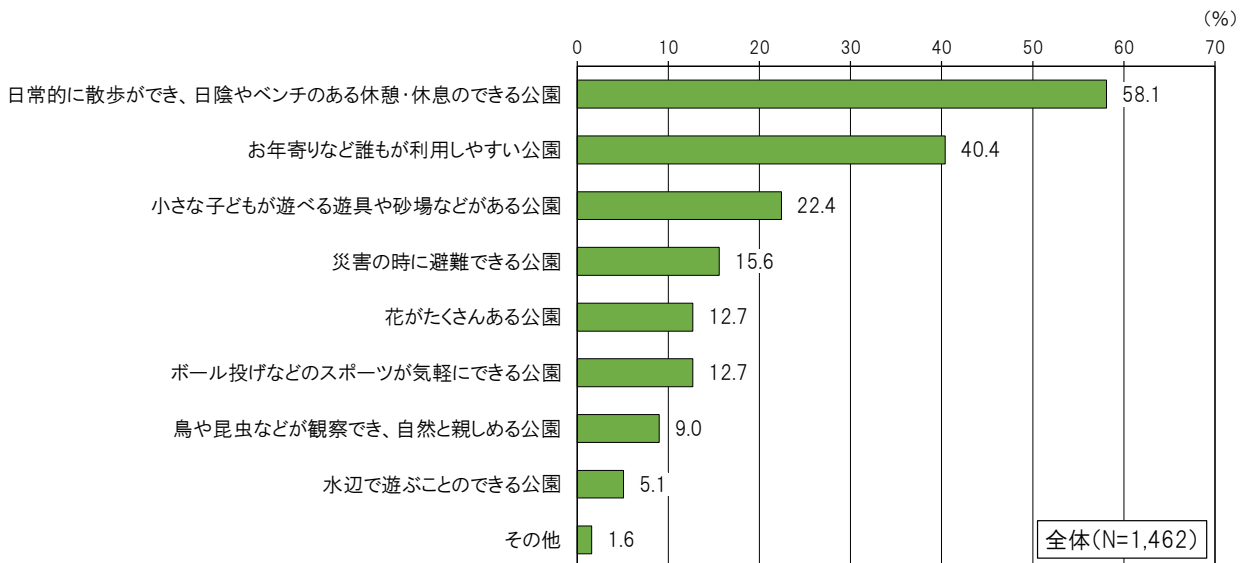
問16 どのような公園が必要だと思いますか。【〇は2つまで】

公園として必要な条件についてみると、「日常的に散歩ができ、日陰やベンチのある休憩・休息のできる公園」の割合が58.1%と最も高くなっており、次いで「お年寄りなど誰もが利用しやすい公園」(40.4%)、「小さな子どもが遊べる遊具や砂場などがある公園」(22.4%)の順となっている。

性別、居住地別にみると、いずれの属性も「日常的に散歩ができ、日陰やベンチのある休憩・休息のできる公園」の割合が最も高くなっており、次いで「お年寄りなど誰もが利用しやすい公園」、「小さな子どもが遊べる遊具や砂場などがある公園」の順となっている。

年齢別にみると、いずれの年齢も「日常的に散歩ができ、日陰やベンチのある休憩・休息のできる公園」の割合が最も高くなっている。40歳～69歳、70歳以上は、次いで「お年寄りなど誰もが利用しやすい公園」の順となっている。また、20歳～29歳は、次いで「ボール投げなどのスポーツが気軽にできる公園」(30.3%)、30歳～39歳は「小さな子どもが遊べる遊具や砂場などがある公園」(34.0%)の順となっている。

公園として必要な条件【全体】



公園として必要な条件【全体、性別、年齢別、居住地別】

単位: 上段=% 下段=人		合計	憩日 ・陰 ・陽 の 休 息 の で き る 公 園	日 常 に 散 歩 が で き 、 ベン チ の あ る 公 園	お し や す い 公 園	お 年 寄 り な ど 誰 も が 利 用 し や す い 公 園	小 さ な 子 ど も が 遊 べ る 公 園	遊 具 や 砂 場 な ど が あ る 公 園	災 害 の 時 に 避 難 で き る 公 園	花 が た く さ ん あ る 公 園	ポ ー ル ツ が 気 軽 に で き る 公 園	ポ ー ル ツ が 気 軽 に で き る 公 園	鳥 や 昆 虫 な ど が 観 察 で き る 公 園	水 辺 で 遊 ぶ こ と が で き る 公 園	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 1,462	58.1 850	40.4 591	22.4 328	15.6 228	12.7 186	12.7 186	9.0 132	5.1 74	1.6 23	2.9 43				
性別	男性	100.0 636	53.3 339	36.8 234	26.9 171	16.2 103	9.7 62	14.3 91	9.4 60	6.3 40	2.2 14	2.4 15				
	女性	100.0 813	62.2 506	43.4 353	18.7 152	15.3 124	15.3 124	11.6 94	8.5 69	4.2 34	1.1 9	3.1 25				
年齢別	20歳未満	100.0 23	56.5 13	39.1 9	30.4 7	4.3 1	13.0 3	17.4 4	- -	13.0 3	- -	- -				
	20歳～29歳	100.0 89	48.3 43	23.6 21	29.2 26	10.1 9	18.0 16	30.3 27	6.7 6	14.6 13	2.2 2	1.1 1				
	30歳～39歳	100.0 144	49.3 71	30.6 44	34.0 49	14.6 21	11.8 17	23.6 34	8.3 12	6.3 9	3.5 5	0.7 1				
	40歳～49歳	100.0 212	59.0 125	34.9 74	26.9 57	16.5 35	11.8 25	17.5 37	9.0 19	10.4 22	1.4 3	0.5 1				
	50歳～59歳	100.0 206	54.9 113	37.9 78	23.8 49	18.4 38	11.7 24	11.7 24	9.2 19	4.4 9	1.5 3	2.9 6				
	60歳～69歳	100.0 274	67.5 185	42.0 115	16.4 45	16.8 46	13.9 38	11.7 32	10.6 29	2.6 7	0.7 2	2.9 8				
	70歳以上	100.0 504	58.3 294	49.0 247	18.1 91	15.3 77	12.5 63	5.6 28	8.9 45	2.2 11	1.6 8	4.8 24				
居住地別	旧佐賀市	100.0 735	59.3 436	41.1 302	19.5 143	16.6 122	15.1 111	11.4 84	8.3 61	6.1 45	1.8 13	2.6 19				
	旧諸富町	100.0 89	58.4 52	47.2 42	31.5 28	10.1 9	11.2 10	13.5 12	4.5 4	- -	2.2 2	2.2 2				
	旧大和町	100.0 151	61.6 93	37.1 56	27.8 42	13.2 20	11.9 18	13.9 21	11.3 17	5.3 8	2.0 3	0.7 1				
	旧富士町	100.0 93	52.7 49	44.1 41	23.7 22	16.1 15	8.6 8	12.9 12	11.8 11	3.2 3	1.1 1	5.4 5				
	旧三瀬村	100.0 76	43.4 33	36.8 28	30.3 23	15.8 12	9.2 7	13.2 10	10.5 8	5.3 4	2.6 2	6.6 5				
	旧川副町	100.0 102	66.7 68	39.2 40	17.6 18	16.7 17	8.8 9	11.8 12	9.8 10	2.9 3	1.0 1	2.0 2				
	旧東与賀町	100.0 85	62.4 53	41.2 35	24.7 21	5.9 5	15.3 13	17.6 15	8.2 7	5.9 5	- -	1.2 1				
	旧久保田町	100.0 109	53.2 58	39.4 43	24.8 27	22.9 25	8.3 9	17.4 19	11.0 12	5.5 6	0.9 1	0.9 1				

3. 公園や緑地の維持管理

問17 公園や緑地の維持管理を今後どのように行えばよいと思いますか。【〇は1つ】

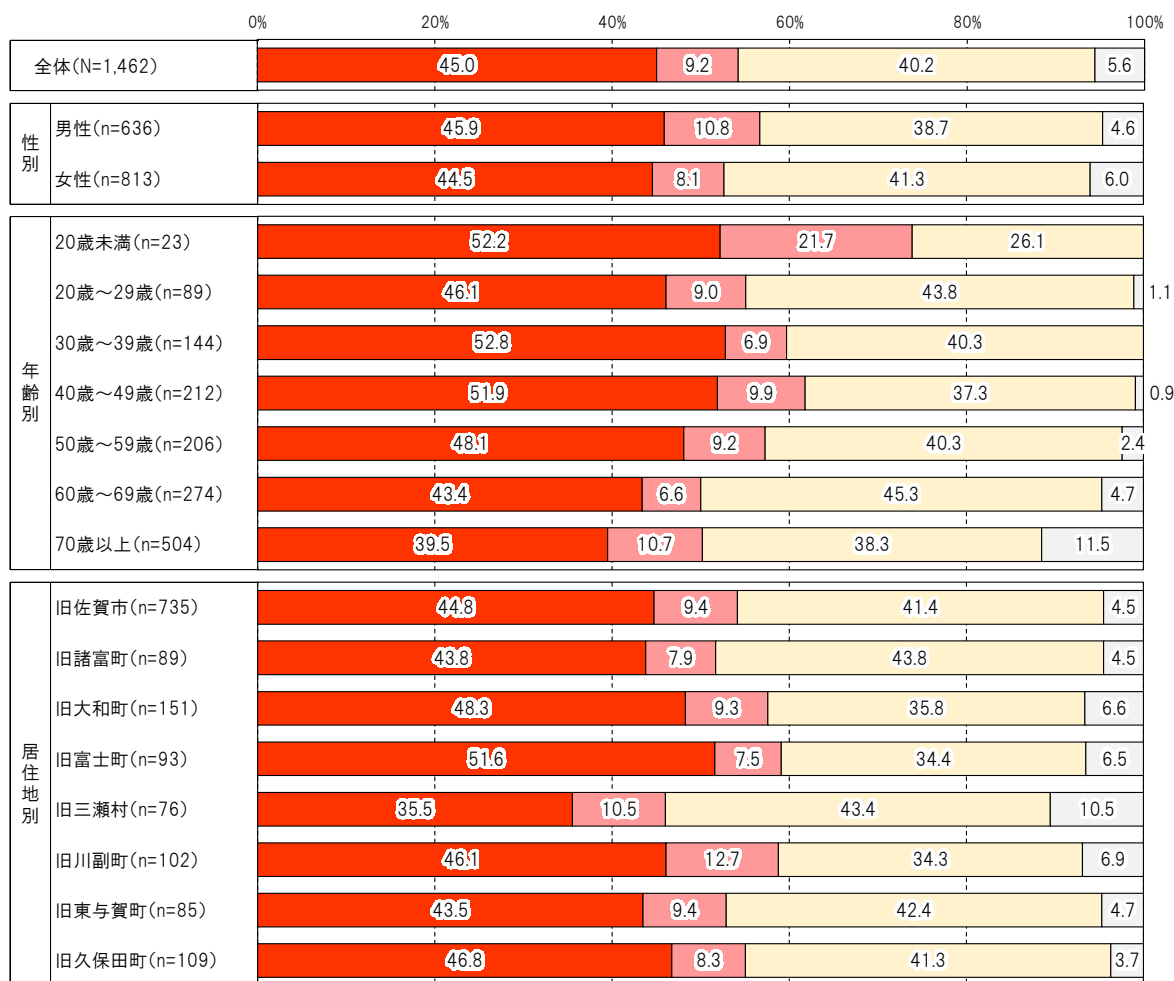
公園や緑地の維持管理の今後についてみると、「市が維持管理を行う」の割合が45.0%と最も高くなっており、次いで「市と地元住民が協働して行う」(40.2%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「市が維持管理を行う」(男性45.9%、女性44.5%)の割合が最も高くなっており、次いで「市と地元住民が協働して行う」(男性38.7%、女性41.3%)の順となっている。

年齢別にみると、60歳～69歳を除くいずれの年齢も「市が維持管理を行う」の割合が最も高くなっている。また、60歳～69歳は「市と地元住民が協働して行う」(45.3%)の割合が最も高くなっている。

居住地別にみると、旧三瀬村を除くいずれの居住地も「市が維持管理を行う」の割合が最も高くなっている。また、旧三瀬村は「市と地元住民が協働して行う」(43.4%)の割合が最も高くなっている。

公園や緑地の維持管理【全体、性別、年齢別、居住地別】



- 市が維持管理を行う
- 地元住民、ボランティア団体などで維持管理を行う
- 市と地元住民が協働して行う
- 無回答

4. 公園や緑地の維持管理のための協力

問17で公園や緑地の維持管理を「地元住民、ボランティア団体などで維持管理を行う」、「市と地元住民が協働して行う」を選択した方にお尋ねします。

問18 あなたは公園や緑地の維持管理について、どのような協力ができると思いますか。

【〇は1つ】

公園の維持管理のための協力についてみると、「地元住民（自治会等）による、草刈り、花壇の整備、清掃活動など」の割合が47.0%と最も高くなっており、次いで「公園利用時にゴミを拾ったり、気づいた施設（遊具、トイレなど）の破損等を知らせる」（32.7%）の順となっている。

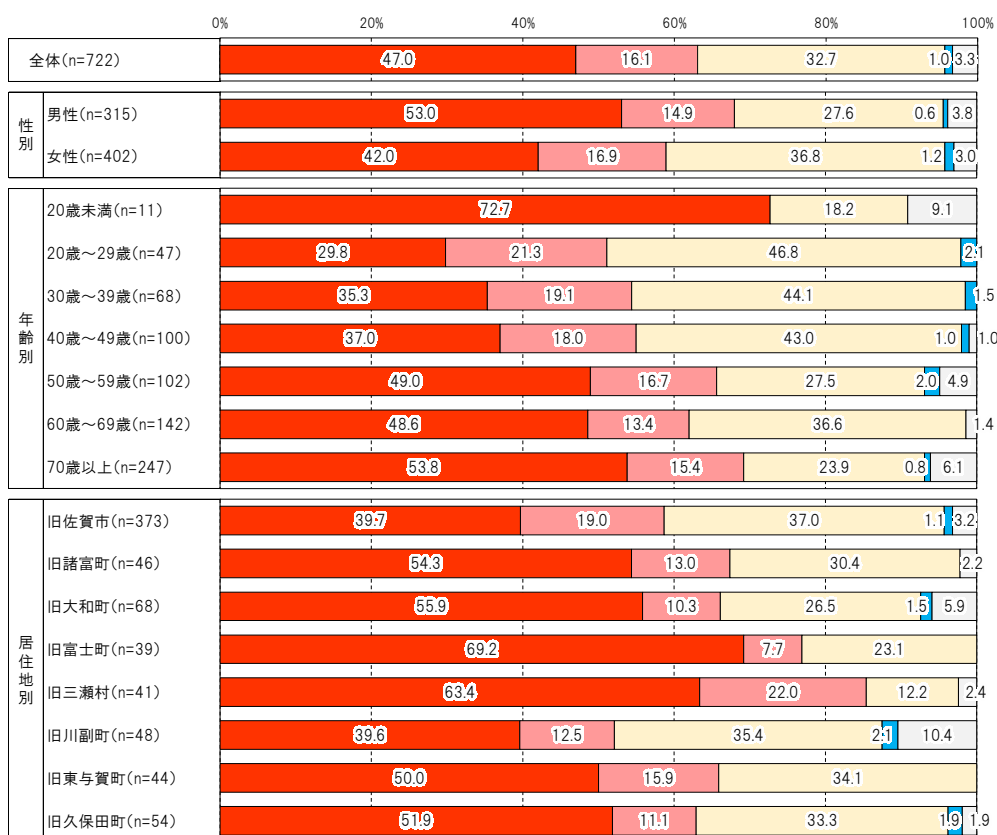
性別にみると、男女とも「地元住民（自治会等）による、草刈り、花壇の整備、清掃活動など」（男性53.0%、女性42.0%）の割合が最も高くなっている。

年齢別にみると、49歳未満は「公園利用時にゴミを拾ったり、気づいた施設（遊具、トイレなど）の破損等を知らせる」、50歳以上は「地元住民（自治会等）による、草刈り、花壇の整備、清掃活動など」の割合がそれぞれ最も高くなっている。また、「地元住民（自治会等）による、草刈り、花壇の整備、清掃活動など」の割合は年齢が上がるにつれ、割合が増加する傾向がみられる。

なお、20歳未満はサンプル数が少ないため参考程度の掲載とする。

居住地別にみると、いずれの居住地も「地元住民（自治会等）による、草刈り、花壇の整備、清掃活動など」の割合が最も高くなっており、旧富士町と旧三瀬村は6割を超え特に高くなっている。

維持管理のための協力【全体、性別、年齢別、居住地別】



- 地元住民(自治会等)による、草刈り、花壇の整備、清掃活動など
- パークメイト(公園サポーター)や花づくりボランティアなどに登録し、草刈り、花壇の整備、清掃活動等
- 公園利用時にゴミを拾ったり、気づいた施設(遊具、トイレなど)の破損等を知らせる
- その他
- 無回答

5. 神野公園について

(1) 利用経験

問19 神野公園を利用したことがありますか。【○は1つ】

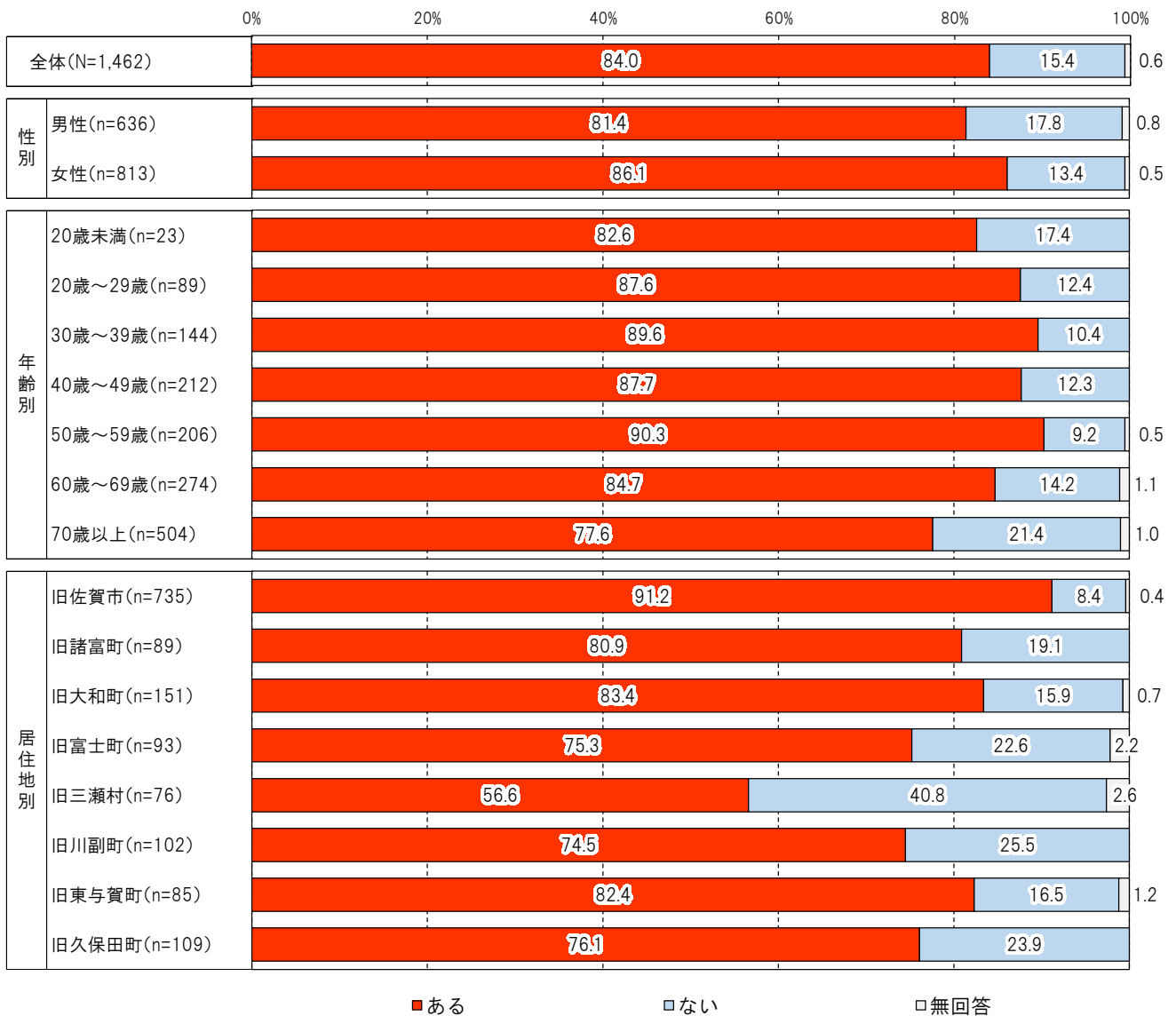
神野公園の利用経験の有無についてみると、「(利用したことが) ある」の割合が84.0%と8割を超えている。

性別にみると、「(利用したことが) ある」の割合は、男性(81.4%)より女性(86.1%)の方が4.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「(利用したことが) ある」の割合は、70歳以上を除くいずれの年齢も8割を超えており、特に50歳～59歳では90.3%と9割を超えている。

居住地別にみると、「(利用したことが) ある」の割合は、旧三瀬村を除くいずれの地域も7割を超えており、旧佐賀市が91.2%と9割を超え特に高くなっている。

利用経験【全体、性別、年齢別、居住地別】



(2) 交通手段

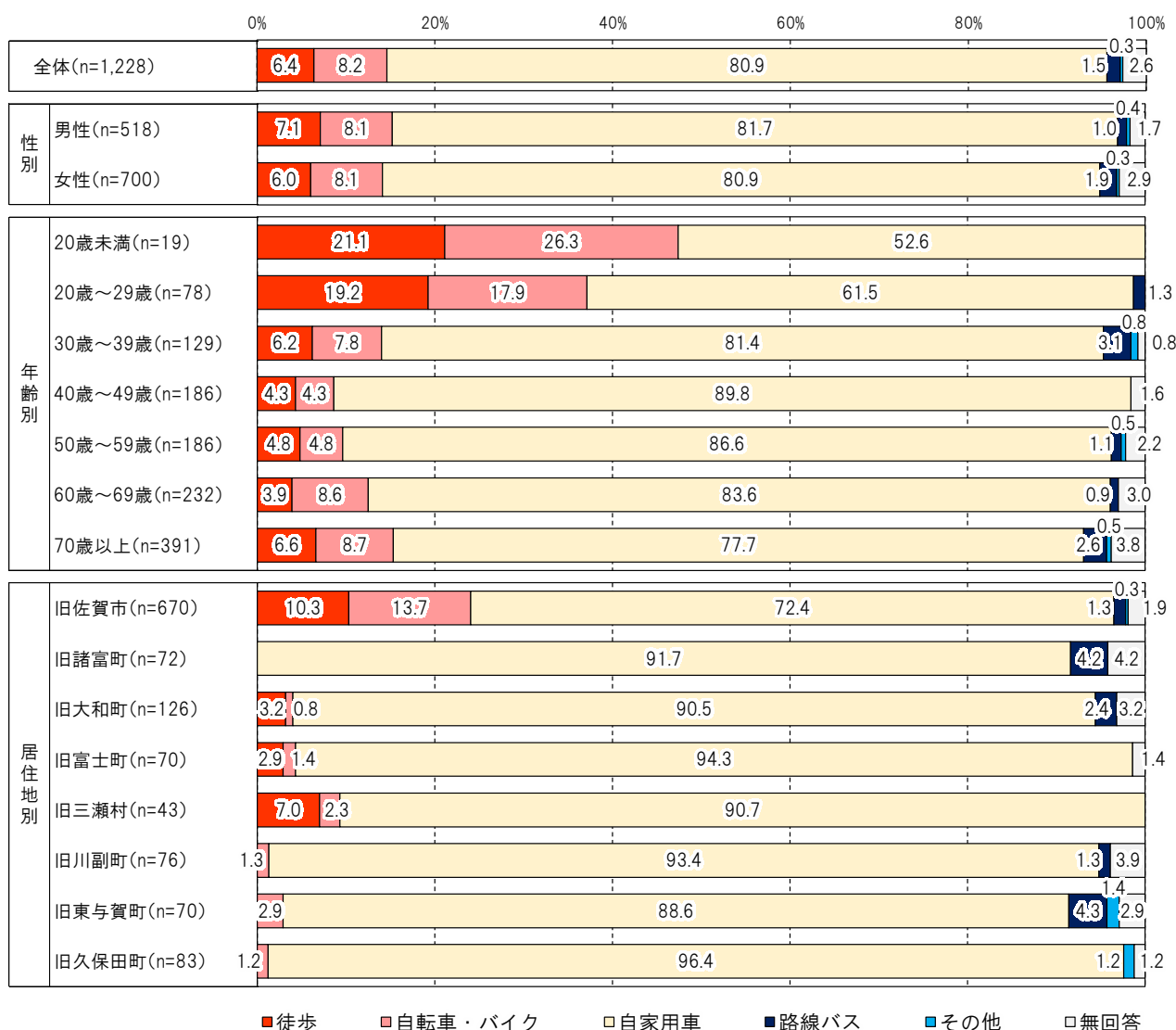
問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

問20 神野公園までの主な交通手段についてお尋ねします。【〇は1つ】

神野公園までの交通手段についてみると、「自家用車」の割合が80.9%と8割を超え高くなっている。

性別、年齢別、居住地別にみると、いずれの属性も「自家用車」の割合が最も高くなっている。また、20歳～29歳は徒歩(19.2%)、自転車・バイク(17.9%)が他の属性と比べ高くなっている。なお、20歳未満は回答数が少ないため参考程度の掲載とする。

交通手段【全体、性別、年齢別、居住地別】



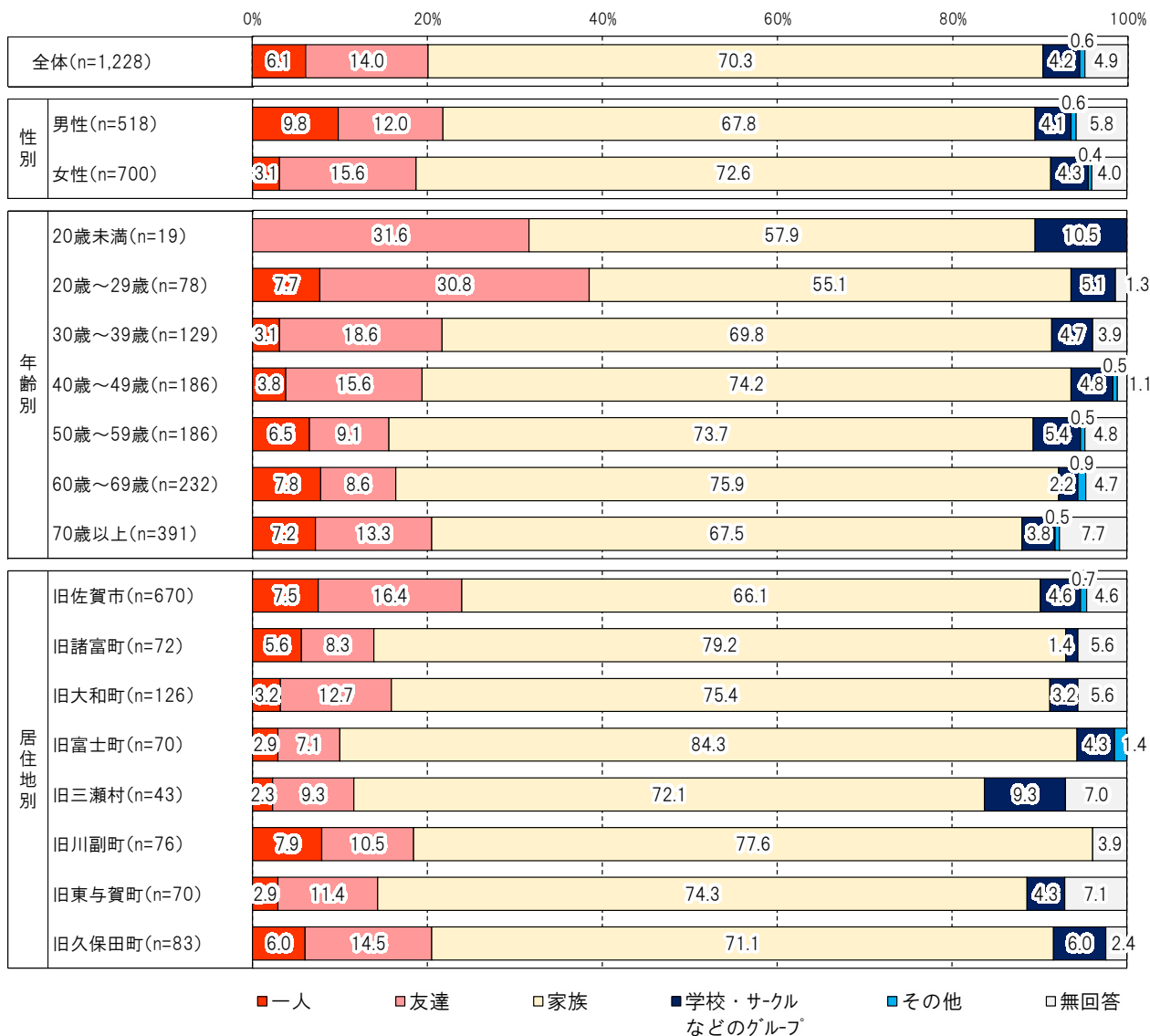
(3) 同行者

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

問21 神野公園は、主にどなたと利用されますか。【〇は1つ】

神野公園利用の同行者についてみると、「家族」の割合が70.3%と7割を超え高くなっている。性別、年齢別、居住地別にみると、いずれの属性も「家族」の割合が最も高くなっている。また、29歳未満は「友達」が3割を超え、他の属性と比べ高くなっている。

同行者【全体、性別、年齢別、居住地別】



(4) 利用目的

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

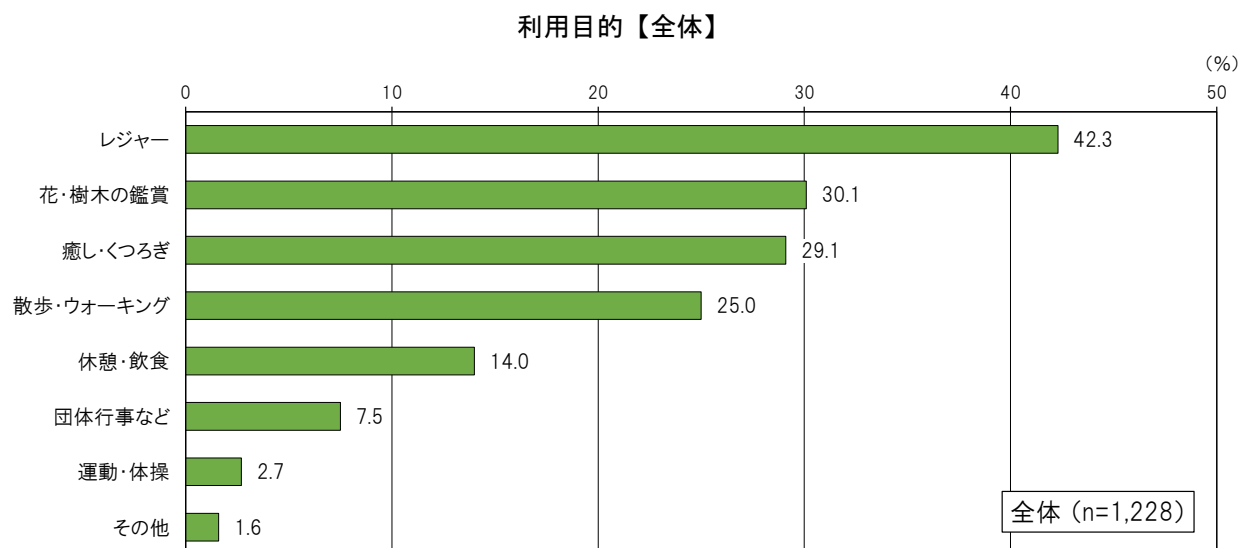
問22 神野公園の利用目的をお聞かせください。【〇はいくつでも】

神野公園の利用目的についてみると、「レジャー」の割合が42.3%と最も高くなっており、次いで「花・樹木の鑑賞」(30.1%)、「癒し・くつろぎ」(29.1%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「レジャー」(男性42.7%、女性42.6%)の割合が最も高くなっており、男性は次いで「癒し・くつろぎ」(29.0%)、「散歩・ウォーキング」(26.6%)の順となっており、女性は次いで「花・樹木の鑑賞」(35.0%)、「癒し・くつろぎ」(29.1%)の順となっている。

年齢別にみると、70歳以上を除くいずれ年齢も「レジャー」の割合が最も高くなっている。また、70歳以上は「癒し・くつろぎ」(37.6%)の割合が最も高くなっている。

居住地別にみると、いずれの居住地も「レジャー」の割合が最も高くなっている。



利用目的【全体、性別、年齢別、居住地別】

単位： 上段=% 下段=人		合計	レジャー	花・樹木の鑑賞	癒し・くつろぎ	散歩・ウォーキング	休憩・飲食	団体行事など	運動・体操	その他	無回答
全体		100.0 1,228	42.3 520	30.1 370	29.1 357	25.0 307	14.0 172	7.5 92	2.7 33	1.6 20	4.6 57
性別	男性	100.0 518	42.7 221	23.4 121	29.0 150	26.6 138	14.9 77	6.4 33	2.9 15	1.0 5	4.4 23
	女性	100.0 700	42.6 298	35.0 245	29.1 204	23.7 166	13.4 94	8.4 59	2.6 18	2.1 15	4.6 32
年齢別	20歳未満	100.0 19	36.8 7	10.5 2	15.8 3	21.1 4	21.1 4	15.8 3	10.5 2	- -	5.3 1
	20歳～29歳	100.0 78	48.7 38	25.6 20	19.2 15	25.6 20	12.8 10	10.3 8	12.8 10	1.3 1	1.3 1
	30歳～39歳	100.0 129	62.8 81	32.6 42	20.2 26	24.8 32	16.3 21	10.9 14	4.7 6	1.6 2	2.3 3
	40歳～49歳	100.0 186	52.2 97	25.8 48	22.6 42	29.0 54	15.6 29	10.2 19	3.8 7	0.5 1	1.1 2
	50歳～59歳	100.0 186	41.9 78	26.3 49	28.0 52	22.6 42	7.0 13	8.1 15	- -	3.2 6	4.3 8
	60歳～69歳	100.0 232	44.0 102	27.2 63	30.2 70	23.3 54	15.9 37	5.2 12	1.3 3	1.7 4	5.2 12
	70歳以上	100.0 391	29.9 117	36.8 144	37.6 147	25.6 100	14.6 57	5.4 21	1.3 5	1.5 6	7.2 28
居住地別	旧佐賀市	100.0 670	36.4 244	33.7 226	31.6 212	29.7 199	14.9 100	8.7 58	3.6 24	1.2 8	4.5 30
	旧諸富町	100.0 72	51.4 37	23.6 17	33.3 24	19.4 14	8.3 6	4.2 3	5.6 4	- -	4.2 3
	旧大和町	100.0 126	44.4 56	30.2 38	23.8 30	20.6 26	11.9 15	5.6 7	0.8 1	4.0 5	4.0 5
	旧富士町	100.0 70	47.1 33	21.4 15	30.0 21	24.3 17	20.0 14	7.1 5	1.4 1	4.3 3	1.4 1
	旧三瀬村	100.0 43	41.9 18	20.9 9	30.2 13	18.6 8	23.3 10	4.7 2	2.3 1	2.3 1	2.3 1
	旧川副町	100.0 76	48.7 37	25.0 19	27.6 21	18.4 14	7.9 6	5.3 4	- -	1.3 1	7.9 6
	旧東与賀町	100.0 70	61.4 43	25.7 18	25.7 18	12.9 9	12.9 9	4.3 3	1.4 1	2.9 2	5.7 4
	旧久保田町	100.0 83	60.2 50	27.7 23	18.1 15	20.5 17	12.0 10	12.0 10	1.2 1	- -	1.2 1

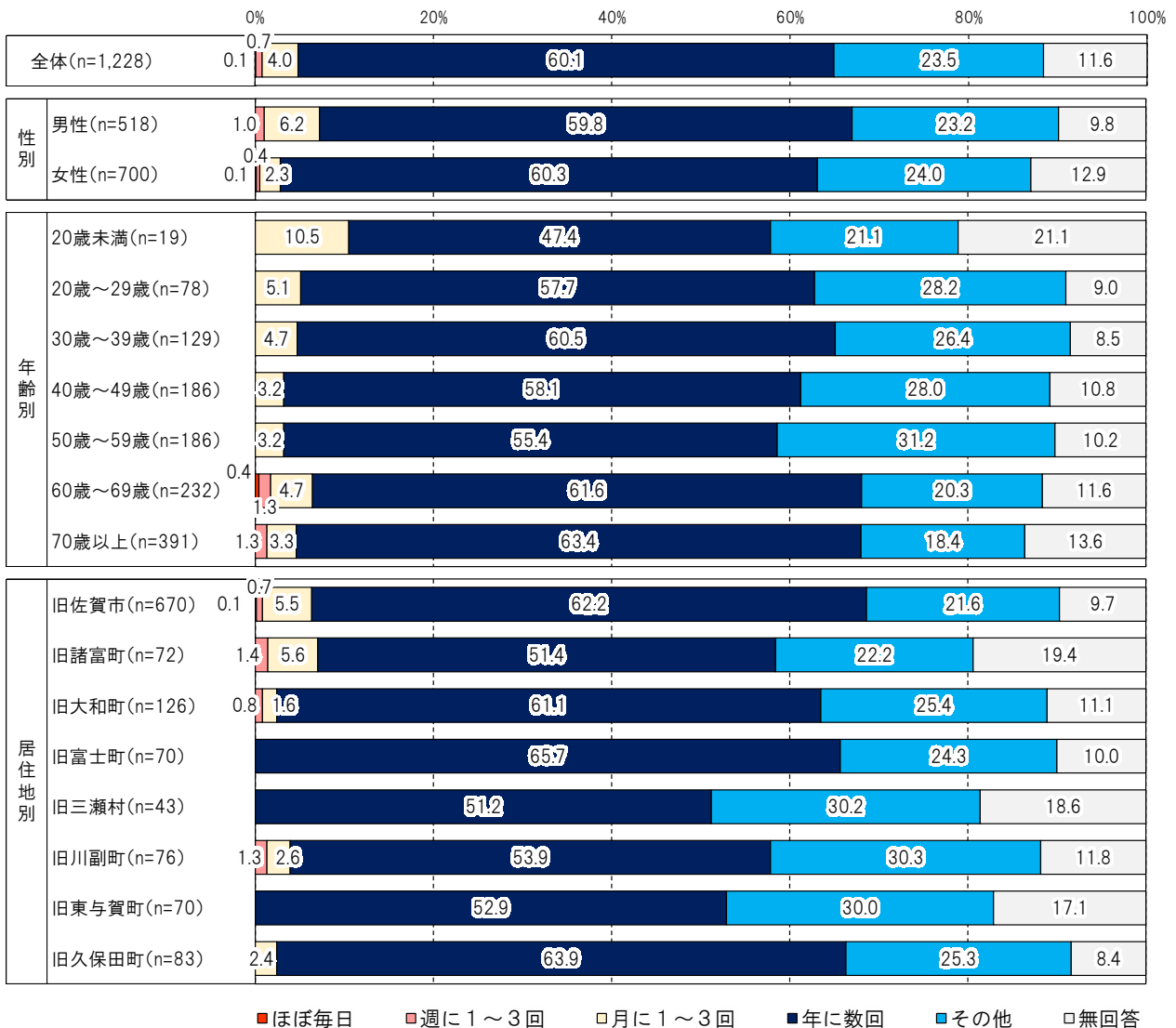
(5) 利用頻度

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

問23 神野公園の利用頻度についてお聞かせください。【○は1つ】

神野公園の利用頻度についてみると、「年に数回」の割合が60.1%と6割を超え高くなっている。性別、年齢別、居住地別にみると、いずれの属性も「年に数回」の割合が最も高くなっている。

利用頻度【全体、性別、年齢別、居住地別】



(6) 利用施設

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

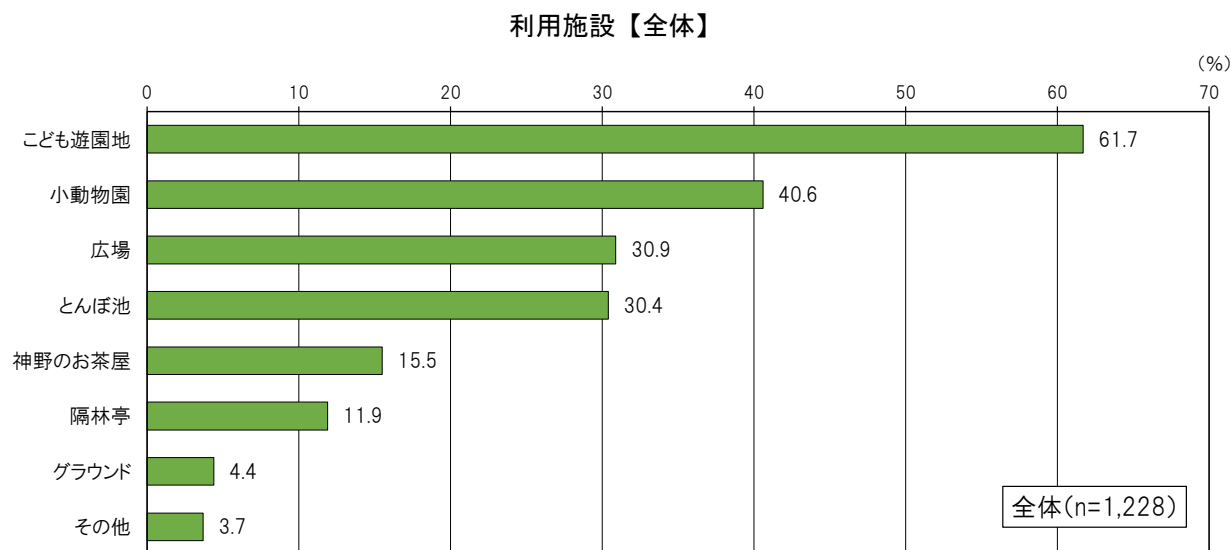
問24 神野公園のどの施設を利用されましたか。【〇はいくつでも】

神野公園で利用した施設についてみると、「こども遊園地」の割合が61.7%と最も高くなっており、次いで「小動物園」(40.6%)、「広場」(30.9%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「こども遊園地」(男性60.0%、女性63.0%)の割合が最も高くなっており、次いで「小動物園」(男性36.9%、女性43.3%)の順となっている。また、男性は次いで「とんぼ池」(31.3%)、女性は次いで「広場」(34.1%)の順となっている。

年齢別にみると、いずれの年齢も「こども遊園地」の割合が最も高くなっており、次いで20歳～29歳を除き「小動物園」の順となっている。また、50歳以上は「広場」より「とんぼ池」の割合の方が高くなっている。

居住地別にみると、いずれの居住地も「こども遊園地」の割合が最も高くなっており、次いで旧三瀬村を除き「小動物園」の順となっている。また、旧三瀬村は「小動物園」(25.6%)より「広場」(37.2%)の割合の方が高くなっている。



利用施設【全体、性別、年齢別、居住地別】

単位: 上段=% 下段=人		合計	こども遊園地	小動物園	広場	とんぼ池	神野のお茶屋	隔林亭	グラウンド	その他	無回答
全体		100.0 1,228	61.7 758	40.6 498	30.9 380	30.4 373	15.5 190	11.9 146	4.4 54	3.7 46	7.8 96
性別	男性	100.0 518	60.0 311	36.9 191	26.6 138	31.3 162	14.1 73	10.6 55	5.6 29	3.9 20	9.3 48
	女性	100.0 700	63.0 441	43.3 303	34.1 239	29.6 207	16.7 117	12.9 90	3.6 25	3.6 25	6.6 46
年齢別	20歳未満	100.0 19	73.7 14	47.4 9	42.1 8	36.8 7	- -	- -	10.5 2	- -	5.3 1
	20歳～29歳	100.0 78	61.5 48	52.6 41	53.8 42	38.5 30	3.8 3	10.3 8	11.5 9	1.3 1	5.1 4
	30歳～39歳	100.0 129	65.1 84	40.3 52	38.0 49	27.1 35	6.2 8	14.0 18	7.0 9	3.1 4	3.9 5
	40歳～49歳	100.0 186	68.8 128	45.7 85	32.3 60	30.6 57	9.7 18	7.5 14	4.8 9	4.3 8	3.8 7
	50歳～59歳	100.0 186	68.3 127	42.5 79	29.0 54	29.6 55	12.4 23	11.3 21	3.2 6	5.4 10	7.5 14
	60歳～69歳	100.0 232	69.8 162	39.2 91	26.3 61	26.7 62	17.7 41	9.5 22	3.9 9	3.4 8	7.3 17
	70歳以上	100.0 391	49.1 192	35.3 138	26.6 104	31.7 124	24.8 97	15.9 62	2.6 10	3.6 14	11.8 46
居住地別	旧佐賀市	100.0 670	57.3 384	42.8 287	33.1 222	34.9 234	17.2 115	14.2 95	6.4 43	4.8 32	7.8 52
	旧諸富町	100.0 72	77.8 56	41.7 30	30.6 22	20.8 15	16.7 12	5.6 4	1.4 1	5.6 4	4.2 3
	旧大和町	100.0 126	69.0 87	42.9 54	30.2 38	27.8 35	12.7 16	7.9 10	0.8 1	2.4 3	7.9 10
	旧富士町	100.0 70	65.7 46	31.4 22	21.4 15	24.3 17	20.0 14	12.9 9	1.4 1	2.9 2	4.3 3
	旧三瀬村	100.0 43	58.1 25	25.6 11	37.2 16	25.6 11	14.0 6	7.0 3	7.0 3	- -	7.0 3
	旧川副町	100.0 76	65.8 50	42.1 32	27.6 21	30.3 23	10.5 8	7.9 6	2.6 2	1.3 1	9.2 7
	旧東与賀町	100.0 70	68.6 48	35.7 25	31.4 22	21.4 15	10.0 7	10.0 7	2.9 2	1.4 1	10.0 7
	旧久保田町	100.0 83	66.3 55	36.1 30	24.1 20	20.5 17	12.0 10	10.8 9	1.2 1	2.4 2	7.2 6

(7) 充実してほしい施設

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

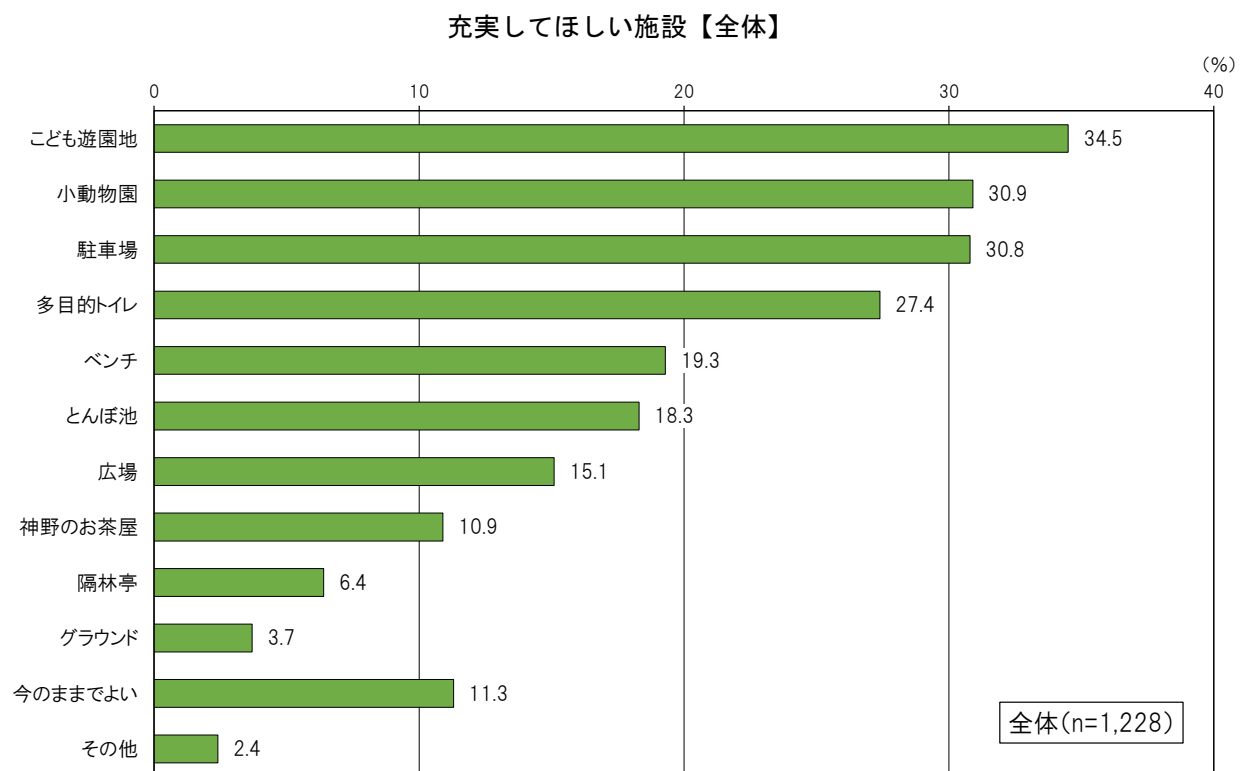
問25 今後、充実してほしい施設をお聞かせください。【〇はいくつでも】

神野公園の今後、充実してほしい施設についてみると、「こども遊園地」の割合が34.5%と最も高くなっており、次いで「小動物園」(30.9%)、「駐車場」(30.8%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「こども遊園地」(男性35.5%、女性33.7%)の割合が最も高くなっており、次いで「小動物園」(男性36.9%、女性43.3%)の順となっている。

年齢別にみると、70歳以上を除くいずれの年齢も「こども遊園地」の割合が最も高くなっている。また、70歳以上は「駐車場」(34.5%)の割合が最も高くなっている。

居住地別にみると、旧三瀬村を除くいずれの居住地も「こども遊園地」の割合が最も高くなっている。また、旧三瀬村は「多目的トイレ」(34.9%)の割合が最も高くなっている。



充実してほしい施設【全体、性別、年齢別、居住地別】

単位： 上段=% 下段=人		合計	こども遊園地	小動物園	駐車場	多目的トイレ	ベンチ	とんぼ池	広場	神野のお茶屋	隔林亭	グラウンド	今のままでよい	その他	無回答
全体		100.0 1,228	34.5 424	30.9 379	30.8 378	27.4 337	19.3 237	18.3 225	15.1 186	10.9 134	6.4 79	3.7 45	11.3 139	2.4 29	7.7 95
性別	男性	100.0 518	35.5 184	30.9 160	29.9 155	24.1 125	16.6 86	19.7 102	13.3 69	10.2 53	5.0 26	4.2 22	12.4 64	2.9 15	6.0 31
	女性	100.0 700	33.7 236	31.0 217	31.4 220	30.1 211	21.4 150	17.1 120	16.4 115	11.1 78	7.4 52	3.3 23	10.7 75	1.9 13	8.9 62
年齢別	20歳未満	100.0 19	47.4 9	31.6 6	10.5 2	21.1 4	5.3 1	10.5 2	21.1 4	5.3 1	10.5 2	15.8 3	15.8 3	- -	5.3 1
	20歳～29歳	100.0 78	41.0 32	39.7 31	24.4 19	28.2 22	30.8 24	19.2 15	32.1 25	7.7 6	3.8 3	7.7 6	11.5 9	1.3 1	1.3 1
	30歳～39歳	100.0 129	46.5 60	38.0 49	23.3 30	24.8 32	15.5 20	16.3 21	24.8 32	10.9 14	7.8 10	7.0 9	14.7 19	0.8 1	1.6 2
	40歳～49歳	100.0 186	36.0 67	33.3 62	33.3 62	24.7 46	15.1 28	13.4 25	19.4 36	10.8 20	6.5 12	5.9 11	16.1 30	2.2 4	5.4 10
	50歳～59歳	100.0 186	36.0 67	32.3 60	25.8 48	28.5 53	18.8 35	16.7 31	8.6 16	12.4 23	8.1 15	2.2 4	10.8 20	1.6 3	7.5 14
	60歳～69歳	100.0 232	34.1 79	28.9 67	34.1 79	31.5 73	20.3 47	21.1 49	14.2 33	11.6 27	3.0 7	0.9 2	10.3 24	3.4 8	8.2 19
	70歳以上	100.0 391	27.6 108	26.1 102	34.5 135	27.4 107	21.0 82	20.5 80	10.0 39	10.7 42	7.4 29	2.6 10	8.7 34	2.8 11	11.8 46
居住地別	旧佐賀市	100.0 670	31.6 212	31.6 212	29.9 200	27.8 186	21.6 145	21.8 146	14.5 97	11.2 75	7.3 49	4.0 27	11.2 75	2.7 18	6.9 46
	旧諸富町	100.0 72	36.1 26	33.3 24	36.1 26	26.4 19	19.4 14	16.7 12	13.9 10	9.7 7	1.4 1	2.8 2	8.3 6	- -	9.7 7
	旧大和町	100.0 126	38.1 48	32.5 41	33.3 42	35.7 45	19.0 24	16.7 21	15.9 20	10.3 13	3.2 4	1.6 2	11.1 14	1.6 2	5.6 7
	旧富士町	100.0 70	41.4 29	22.9 16	30.0 21	20.0 14	20.0 14	11.4 8	24.3 17	17.1 12	11.4 8	5.7 4	12.9 9	4.3 3	1.4 1
	旧三瀬村	100.0 43	30.2 13	18.6 8	32.6 14	34.9 15	18.6 8	4.7 2	16.3 7	11.6 5	7.0 3	4.7 2	14.0 6	2.3 1	14.0 6
	旧川副町	100.0 76	42.1 32	32.9 25	26.3 20	22.4 17	11.8 9	21.1 16	13.2 10	7.9 6	7.9 6	1.3 1	14.5 11	2.6 2	5.3 4
	旧東与賀町	100.0 70	37.1 26	32.9 23	35.7 25	30.0 21	15.7 11	11.4 8	15.7 11	10.0 7	4.3 3	4.3 3	5.7 4	1.4 1	12.9 9
	旧久保田町	100.0 83	41.0 34	30.1 25	31.3 26	21.7 18	13.3 11	10.8 9	14.5 12	7.2 6	4.8 4	4.8 4	15.7 13	1.2 1	9.6 8

(8)「とんぼ池」について

①必要性

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

問26 とんぼ池は必要だと思いますか。【○は1つ】

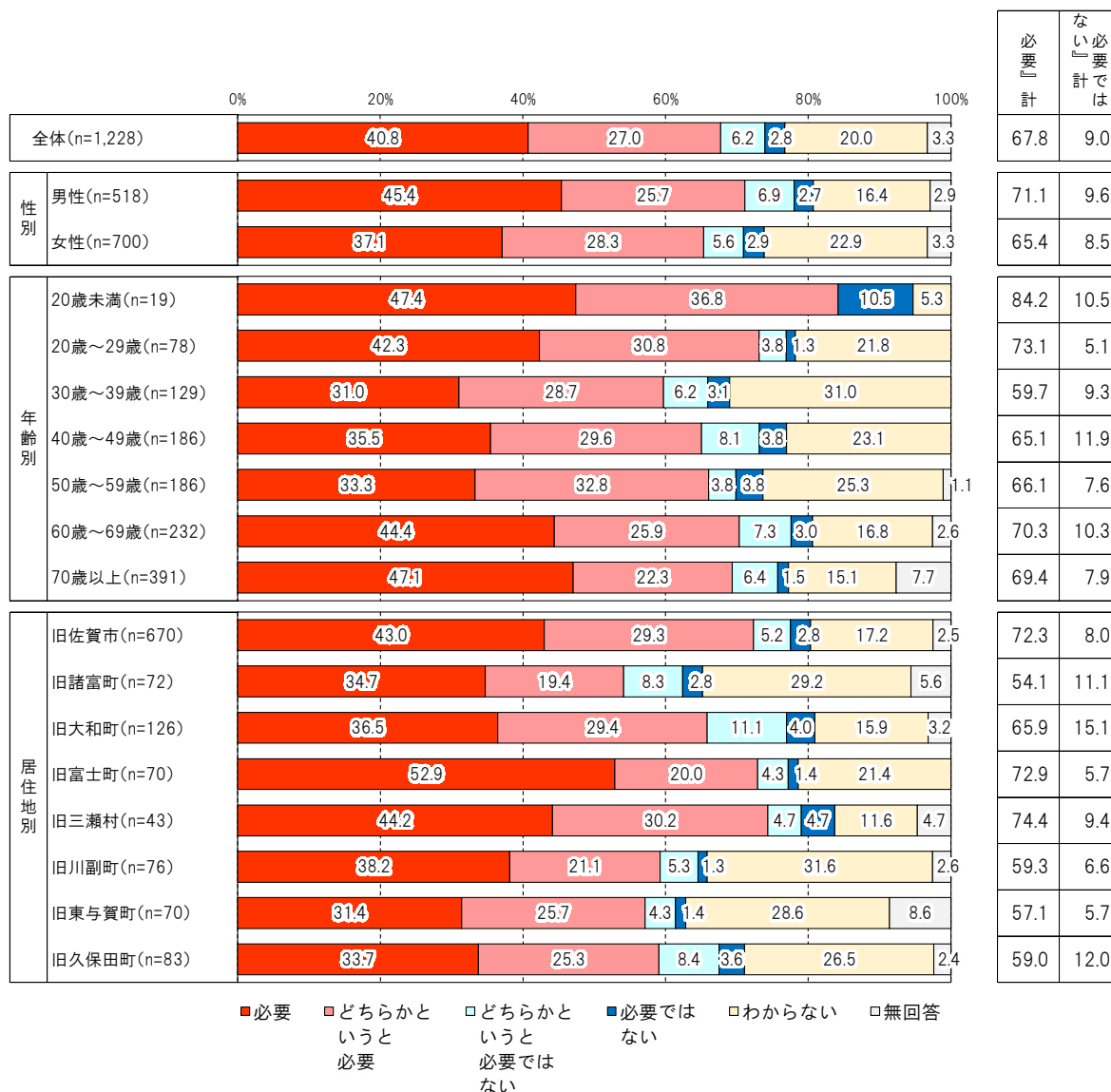
とんぼ池の必要性についてみると、『必要』（「必要」と「どちらかという必要」の合計）の割合が67.8%と6割以上となっている。

性別にみると、『必要』の割合は、女性（65.4%）より男性（71.1%）の方が5.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『必要』の割合は、30歳～39歳を除くいずれの年齢も6割を超えており、29歳未満、60歳～69歳では7割を超え特に高くなっている。

居住地別にみると、『必要』の割合は、いずれの居住地も半数を超えており、旧三瀬村では74.4%と最も高くなっている。

必要性【全体、性別、年齢別、居住地別】



②管理評価

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

問27 とんぼ池は適切に管理できていると思いますか。【〇は1つ】

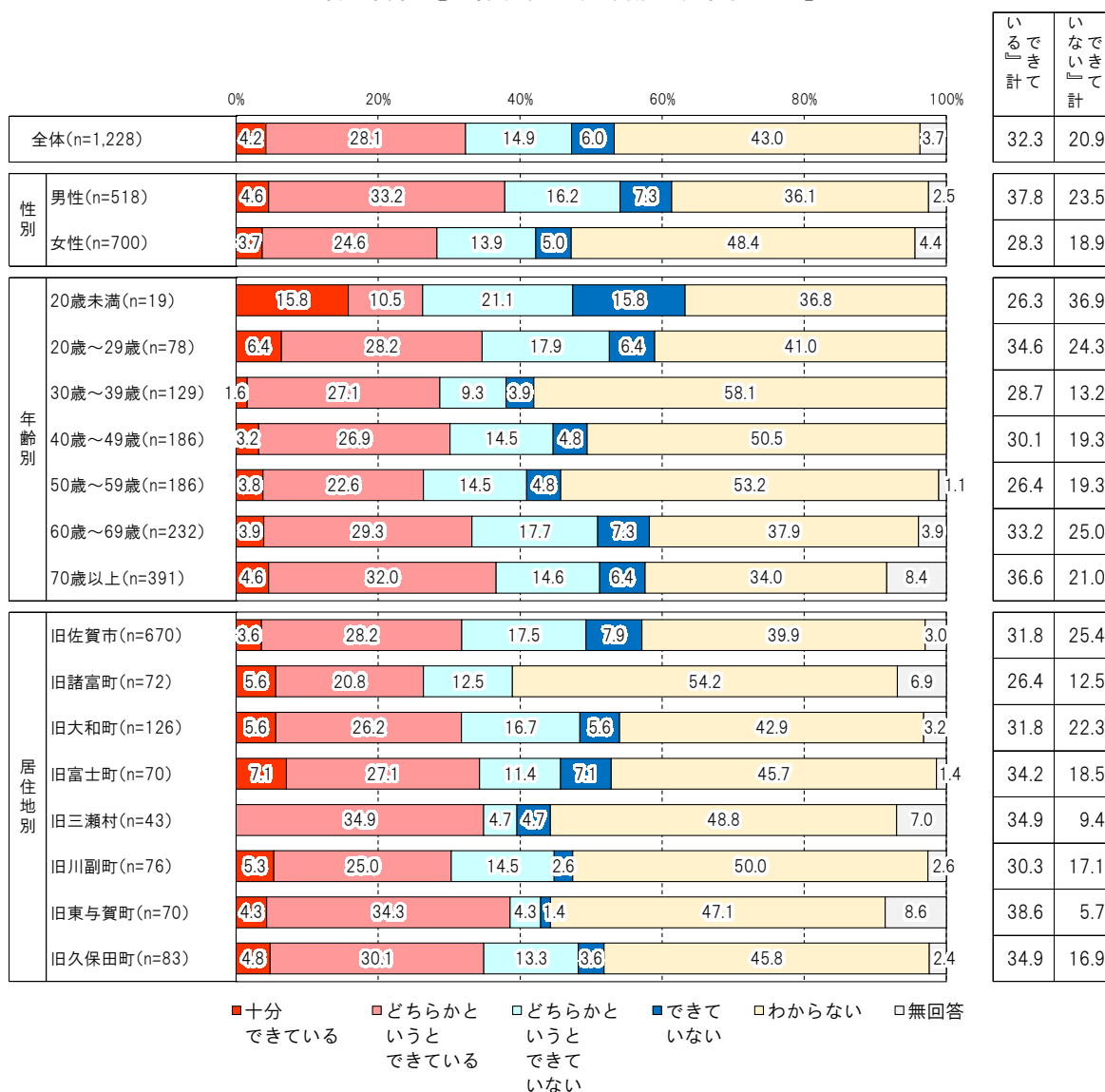
とんぼ池の管理評価についてみると、『できている』（「十分できている」と「どちらかというできている」の合計）の割合が32.3%と3割程度となっている。

性別にみると、『できている』の割合は、女性（28.3%）より男性（37.8%）の方が9.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できている』の割合は、いずれの年齢も3割程度となっており、70歳以上では36.6%と最も高くなっている。

居住地別にみると、『できている』の割合は、旧諸富町を除くいずれの居住地も3割を超えており、旧東与賀町では38.6%と最も高くなっている。

管理評価【全体、性別、年齢別、居住地別】



③改善点

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

問28 とんぼ池で充実・整備してほしいことがあればお聞かせください。【〇は1つ】

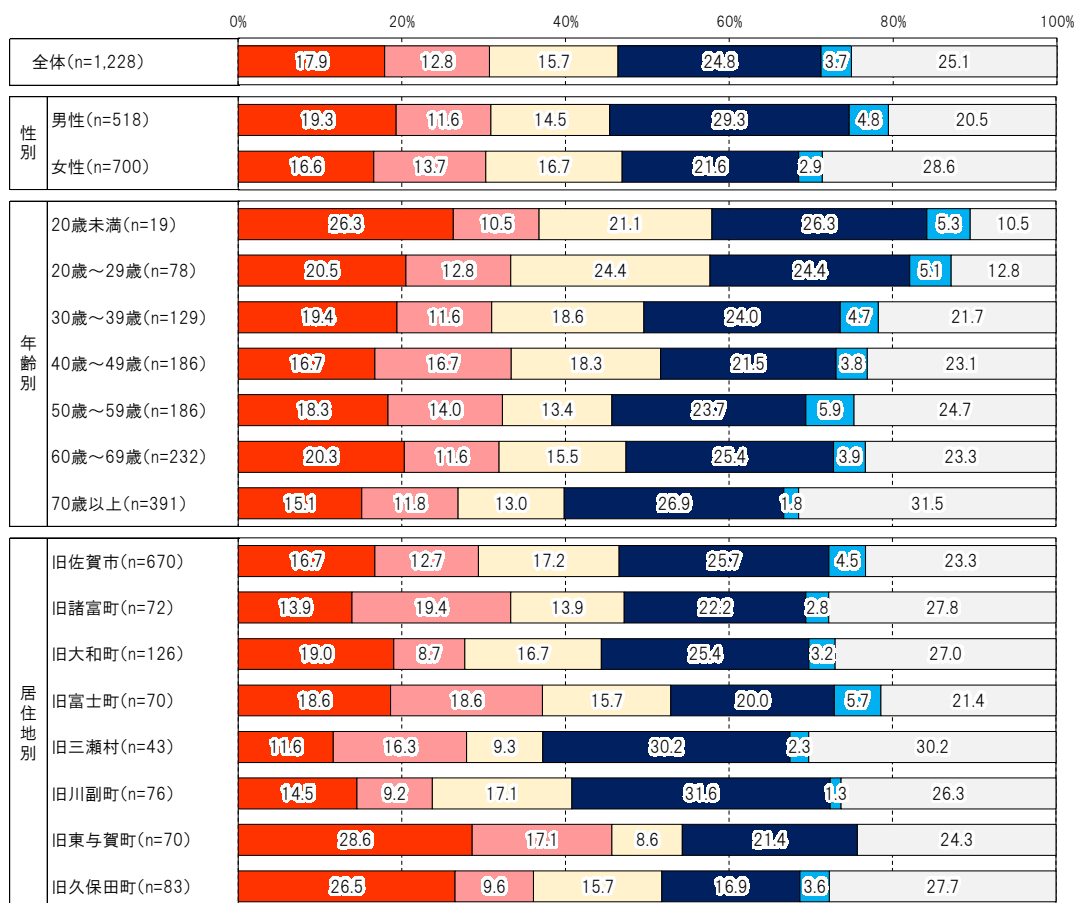
とんぼ池の改善点についてみると、「生き物の生息空間を充実してほしい」の割合が24.8%と最も高くなっており、次いで「生き物とふれあえる場所がほしい」(17.9%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「生き物の生息空間を充実してほしい」(男性29.3%、女性21.6%)の割合が最も高くなっており、男性は次いで「生き物とふれあえる場所がほしい」(19.3%)、女性は次いで「デッキなどの施設を新しくしてほしい」(16.7%)の順となっている。

年齢別にみると、いずれの年齢も「生き物の生息空間を充実してほしい」の割合が最も高くなっており、次いで40歳～49歳を除き「生き物とふれあえる場所がほしい」の順となっている。

居住地別にみると、旧東与賀町と旧久保田町を除くいずれの居住地も「生き物の生息空間を充実してほしい」の割合が最も高くなっている。また、旧東与賀町と旧久保田町は「生き物とふれあえる場所がほしい」の割合が2割を超えている。

改善点【全体、性別、年齢別、居住地別】



- 生き物とふれあえる場所がほしい
- デッキを低くして生き物を観察しやすくしてほしい
- デッキなどの施設を新しくしてほしい
- 生き物の生息空間を充実してほしい
- その他
- 無回答

(9)「小動物園」について

①必要性

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

問29 小動物園は必要だと思いますか。【〇は1つ】

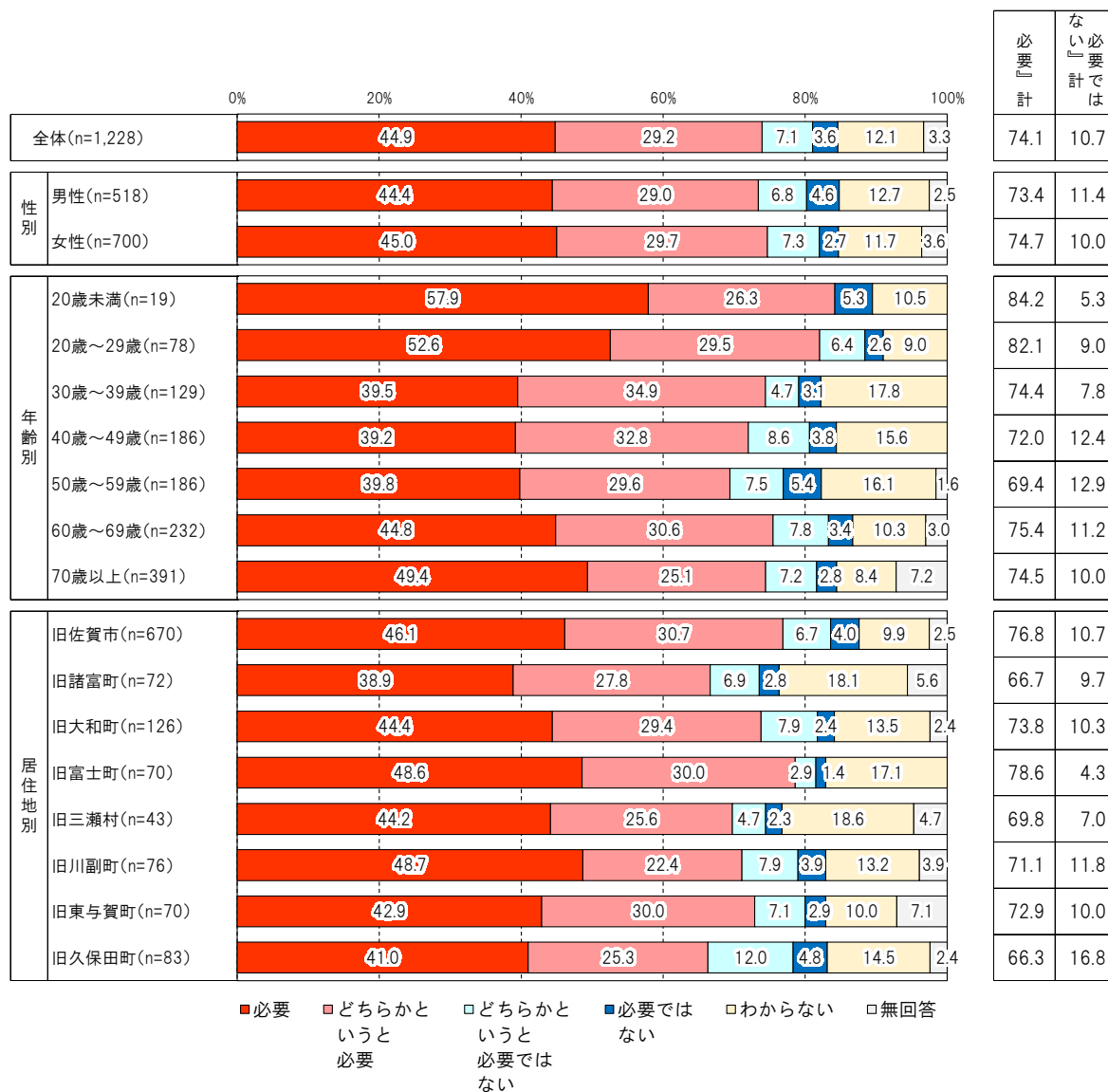
小動物の必要性についてみると、『必要』（「必要」と「どちらかという必要」の合計）の割合が74.1%と7割を超え高くなっている。

性別にみると、『必要』の割合は、男性（73.4%）より女性（74.7%）の方が1.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『必要』の割合は、50歳～59歳を除くいずれの年齢も7割を超えており、29歳未満では8割を超えて特に高くなっている。

居住地別にみると、『必要』の割合は、いずれの居住地も6割を超えており、旧富士町では78.6%と最も高くなっている。

必要性【全体、性別、年齢別、居住地別】



②改善点

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

問30 小動物園で充実・整備してほしいことがあればお聞かせください。【〇は1つ】

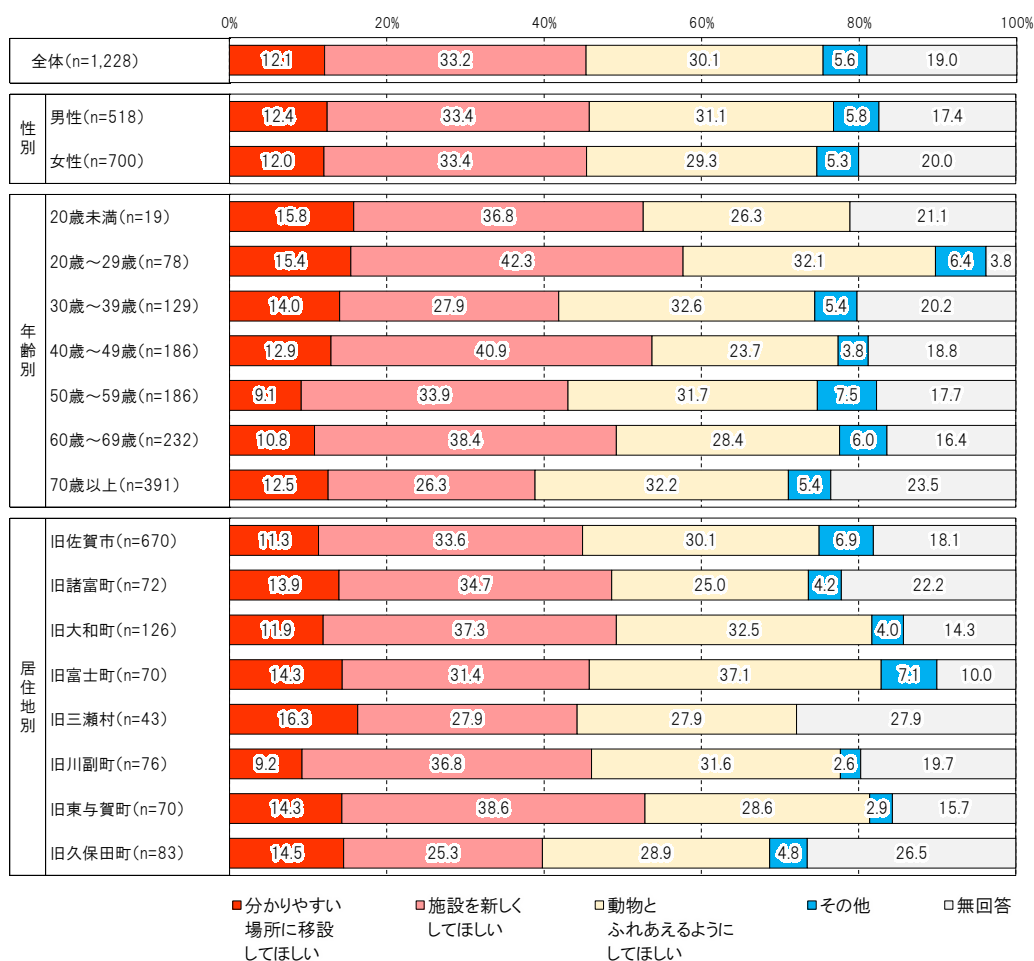
小動物園の改善点についてみると、「施設を新しくしてほしい」の割合が33.2%と最も高くなっており、次いで「動物とふれあえるようにしてほしい」(30.1%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「施設を新しくしてほしい」(男女とも33.4%)の割合が最も高くなっており、次いで「動物とふれあえるようにしてほしい」(男性31.1%、女性29.3%)の順となっている。

年齢別にみると、30歳～39歳と70歳以上を除くいずれの年齢も「施設を新しくしてほしい」の割合が最も高くなっており、次いで「動物とふれあえるようにしてほしい」の順となっている。また、30歳～39歳と70歳以上は「動物とふれあえるようにしてほしい」の割合が最も高くなっており、次いで「施設を新しくしてほしい」の順となっている。

居住地別にみると、旧富士町と旧久保田町を除くいずれの居住地も「施設を新しくしてほしい」の割合が最も高くなっており、次いで「動物とふれあえるようにしてほしい」の順となっている。また、旧富士町と旧久保田町は「動物とふれあえるようにしてほしい」の割合が最も高くなっており、次いで「施設を新しくしてほしい」の順となっている。

改善点【全体、性別、年齢別、居住地別】



(10)「広場」について

①必要性

問19で神野公園を「利用したことがある」を選択した方にお尋ねします。

問31 神野公園に芝生広場は必要だと思いますか。【〇は1つ】

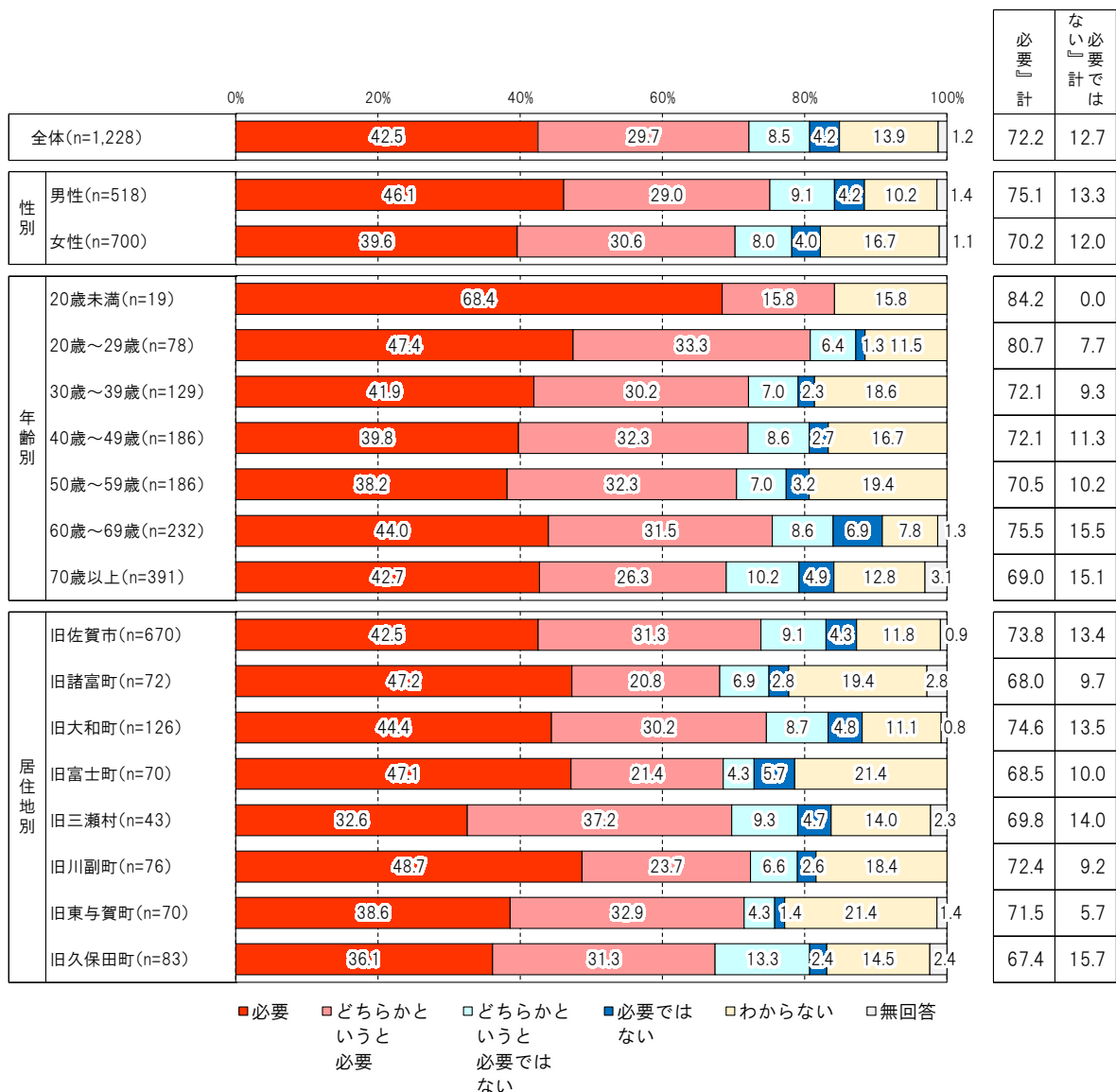
神野公園の芝生広場の必要性についてみると、『必要』（「必要」と「どちらかという必要」の合計）の割合が72.2%と7割を超え高くなっている。

性別にみると、『必要』の割合は、女性（70.2%）より男性（75.1%）の方が4.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『必要』の割合は、70歳以上を除くいずれの年齢も7割を超えており、29歳未満では8割を超えて特に高くなっている。

居住地別にみると、『必要』の割合は、いずれの居住地も6割を超えており、旧大和町では74.6%と最も高くなっている。

必要性【全体、性別、年齢別、居住地別】



②必要な理由

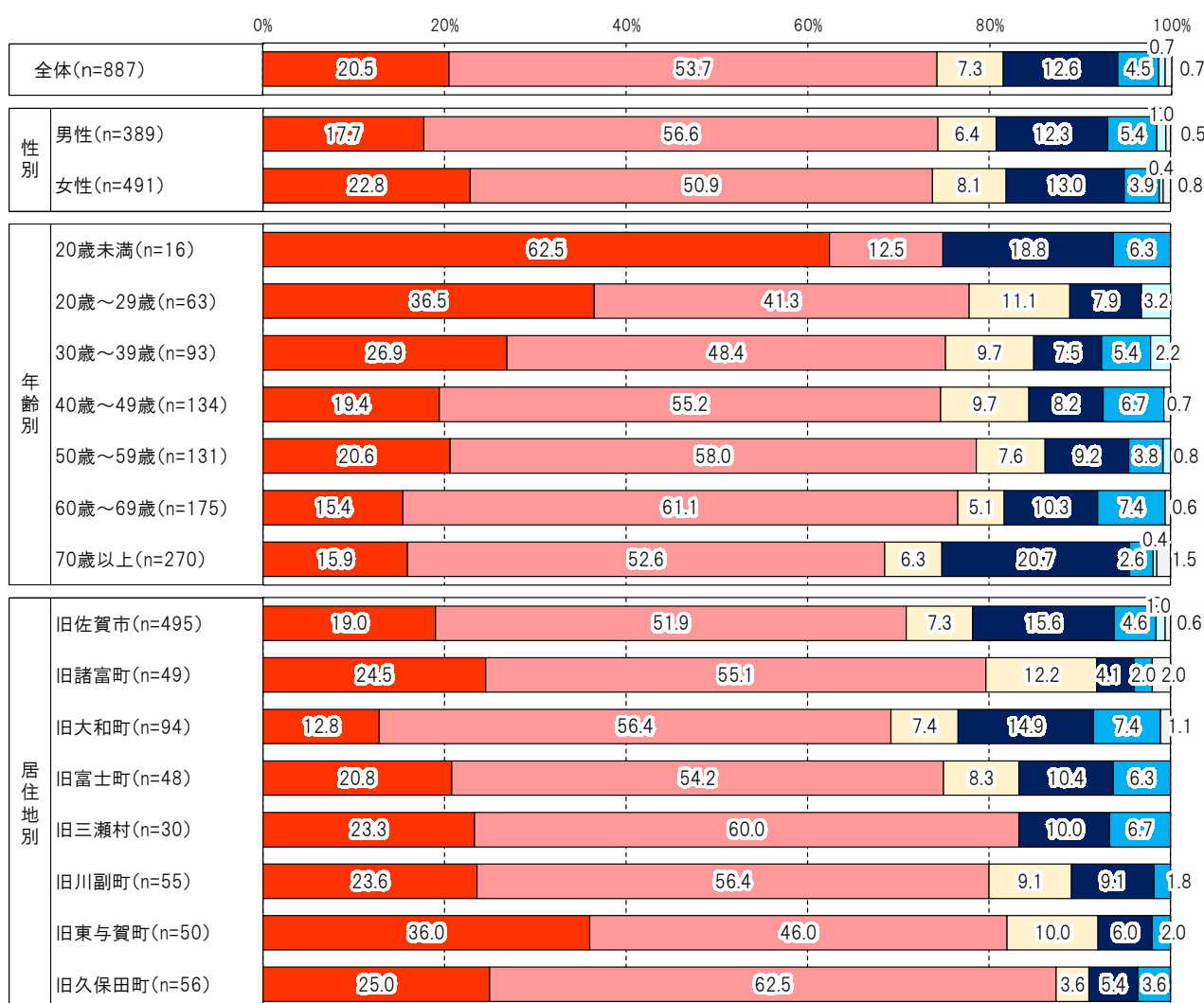
問3 1で神野公園に芝生広場が『必要』を選択した方にお尋ねします。

問3 2 芝生広場が必要だと思われた理由をお聞かせください。【〇は1つ】

芝生広場が必要な理由についてみると、「小さな子どもが安心して走り回れる場所がほしい」の割合が53.7%と最も高くなっており、次いで「開放的でわいわい遊べる場所がほしい」(20.5%)の順となっている。

性別、年齢別、居住地別にみると、いずれの属性も「小さな子どもが安心して走り回れる場所がほしい」の割合が最も高くなっており、次いで「開放的でわいわい遊べる場所がほしい」の順となっている。なお、20歳未満は回答数が少ないため参考程度の掲載とする。

必要な理由【全体、性別、年齢別、居住地別】



- 開放的でわいわい遊べる場所がほしい
- 小さな子どもが安心して走り回れる場所がほしい
- イベントなどができるような広い場所がほしい
- ウォーキングの途中などにゆっくり休憩できる場所がほしい
- 災害時にも活用できる場所がほしい
- その他
- 無回答